ONKYO®

CD/MDチューナーアンプシステム

X-T2

FR-T2(CD/MD チューナーアンプ)
D-T2(スピーカーシステム)

取扱説明書

MDLP

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に
保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内
とともに大切に保管してください。

目次

基本編

はじめに

接続する

こんなこともできます

基本の操作

ラジオを聞く

こんなこともできます

CDを聞く

応用編

外部機器を接続する

放送局を編集する

目次

基本編

MDを聞く

録音する

時計とタイマー

その他の設定

その他

こんなこともできます

応用編

MDグループ機能

録音の設定

名前をつける

主な特長

「X-T2」はFR-T2とD-T2で構成されています。

CD/MDチューナーアンプ（FR-T2）部

■ MDLP対応で、多彩な録音モード　SP、LP2、LP4、Mono
■ 多くの曲を整理するMDグループ機能
■ MDネーム入力をさらに快適にするネームコピー機能
■ CDからMDへの録音レベルを自動設定するDLA Link（Digital Rec Level Adjustment）機能
■ CD→MD高速ダビング機能
■ 音楽用CD-R、CD-RW再生にも対応*
■ 30局メモリー可能なFM/AMチューナー搭載（FMはオートプリセット可能）
■ 重低音の調整ができるS.BASS機能、低音や高音を調整できるBASS、TREBLE機能

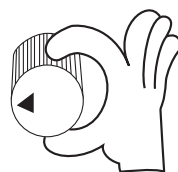
* PCMフォーマットで録音された音楽用CD-R/RWで、ファイナライズ済みのディスク。ただし、傷、汚れ、録音状態によっては、再生できないことがあります。

スピーカー（D-T2）部

■ ウーファー振動板に、「PEN（ポリエチレン・ナフタレート）」による織布と天然繊維とをハイブリッド成型した「A-OMF」振動板を採用
■ ツィーター振動板にバランスドーム型を採用
■ クリアな音質に磨きをかけるラウンドフォルムキャビネット
■ AERO ACOUSTIC DRIVE採用のスリットダクト

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

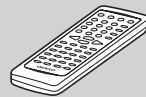
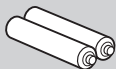
付属品

付属品

本機には以下の付属品が同梱されています。お確かめください。(　)内の数字は数量を表しています。

●AM室内アンテナ（1）
AM放送を受信するアンテナです。

●FM室内アンテナ（1）
FM放送を受信するアンテナです。

●リモコン(RC-741S)（1）

●単3乾電池（2）

●取扱説明書(本書)（1）
●簡単操作ガイド（1）
●保証書（1）
●オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）
●ユーザー登録カード（1）

スピーカーに同梱の付属品

●スピーカーコード 1.1m（2）

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた
間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた
△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意

感電注意

⊘記号は「〜してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止

ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く

必ずする

⚠警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 製品を落としてしまった
- 製品内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■通風孔をふさがない、放熱を妨げない

禁止

CD/MDチューナーアンプには内部の温度上昇を防ぐため、通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となることがあります。

- CD/MDチューナーアンプを押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない（CD/MDチューナーアンプの天面から10cm以上、背面から10cm以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■水蒸気や水のかかる所に置かない、製品の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

製品に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 製品の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

電源コード・電源プラグに関するご注意

■電源コードを傷つけない

禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが製品の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■電源プラグは定期的に掃除する

必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

⚠警告

使用上のご注意

■CD/MDチューナーアンプ内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- CD/MDチューナーアンプの通風孔、ディスク挿入口から異物を入れない
- CD/MDチューナーアンプの上に通風孔に入りそうな小さな金属物を置かない

■長時間音がひずんだ状態で使わない

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ディスク挿入口に手を入れない

指のけがに注意

けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

禁止

ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

■レーザー光源をのぞき込まない

禁止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

■雷が鳴りだしたら製品、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

電池に関するご注意

■乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない

禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通りに入れる

■電池から漏れ出た液にはさわらない

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

⚠注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
また、強度の足りない壁や天井に取り付けないでください。
製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■製品の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、製品に乗ったりしないでください。

■配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

■屋外アンテナ工事は販売店に依頼する

必ずする

アンテナ工事には技術と経験が必要です。

電源コード・電源プラグに関するご注意

■表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する

必ずする

製品を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

■電源コードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠注意

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用上のご注意

■通風孔の温度上昇に注意

高温注意

CD/MD チューナーアンプの通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

■音量に注意する

必ずする

突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

■長時間大きな音でヘッドホンを使用しない

禁止

聴力に悪い影響を与えることがあります。

■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

移動時のご注意

■移動時は電源プラグや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■製品の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

製品の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。
サランネットやスピーカーユニット部を持って移動させないでください。

■機器内部の点検について

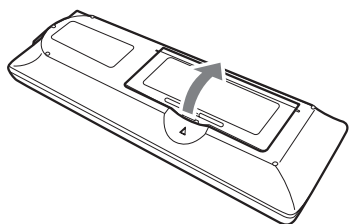
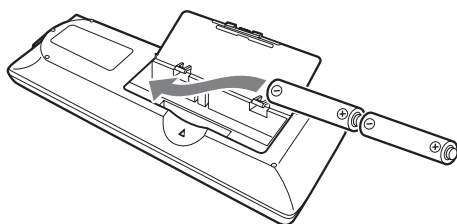
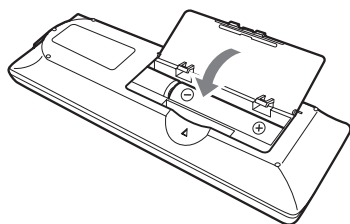
お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■製品のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

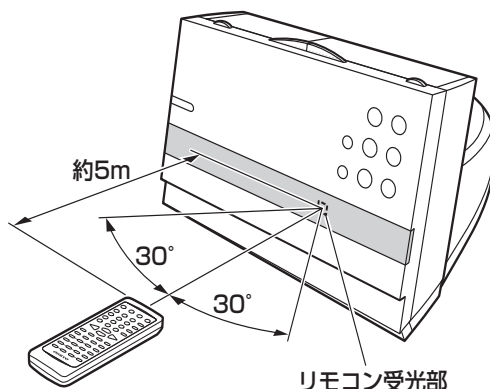
準備する

リモコンに乾電池を入れる

1. カバーを矢印の方向に持ち上げる

2. カバー裏の極性表示にしたがって付属の乾電池2個をプラス⊕とマイナス⊖を間違えないように入れる

3. カバーを戻す

ご注意

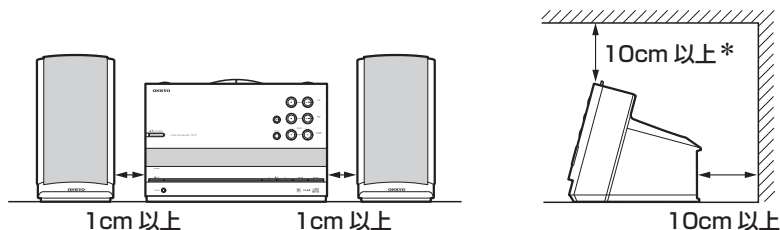
- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の交換時には、単3形をご使用ください。

リモコンの使いかた

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

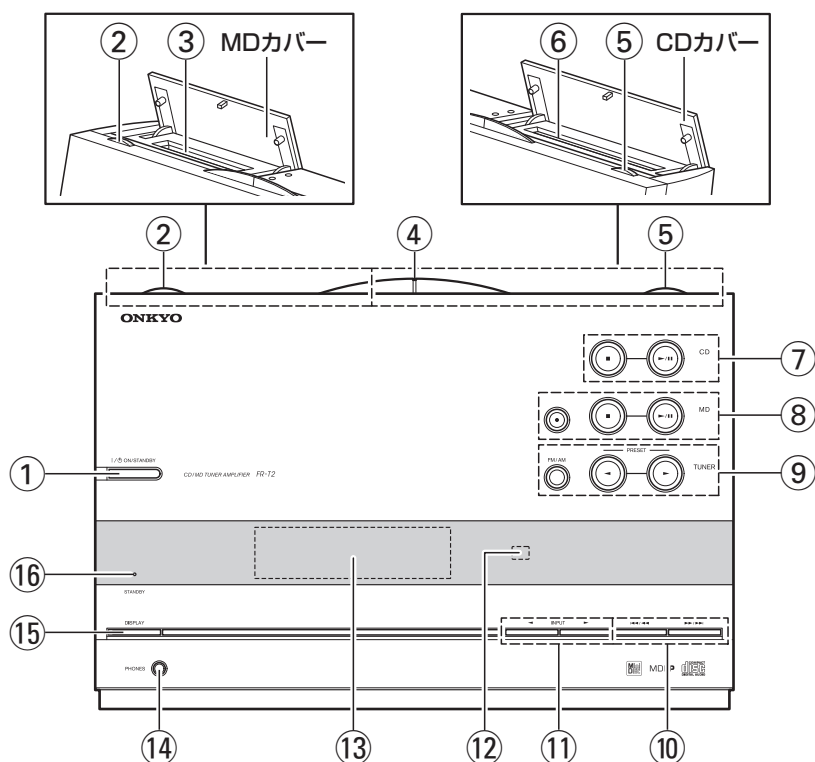
- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光が当たらないようにしてください。リモコンが正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアのガラスに色が付いていると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できません。

本体、スピーカーを設置する

本体は熱くなりますので、放熱のために下図のように壁などから10cm以上離して設置してください。

＊CDを聞くときは、ディスクの出し入れのために15cm以上必要です。

各部の名前と主な働き

前面パネル

〔　〕のページに主な説明があります。

① ON/STANDBYボタン〔20〕
電源のオン/スタンバイを切り換えます。

② MD OPEN/EJECTボタン〔32〕
MDを取り出すときに押します。ボタンを押すとMDカバーが開き、MDが出てきます。MDカバーは手で閉めてください。

③ MD挿入口〔32〕
MDを挿入します。MDを軽く押すと、本機内部に引き込まれます。

④ VOLUME▼/▲ボタンとインジケーター〔21〕
音量を調節します。電源を入れるとインジケーターがしばらく点滅したのち点灯します。ミューティングが働いているときもインジケーターが点滅します。

⑤ CD OPEN/EJECTボタン〔28〕
CDを取り出すときに押します。ボタンを押すとCDカバーが開き、CDが出てきます。CDカバーは手で閉めてください。

⑥ CD挿入口〔28〕
CDを挿入します。CDを入れると、本機内部に引き込まれます。

⑦ CD部操作ボタンとインジケーター

■ボタン〔28〕
CDの再生を停止します。インジケーターはCDが入っているときに点灯し、CD読み込み中と取り出し中は点滅します。

►/❚❚ボタン〔28〕
CDの再生を始めます。再生中に押すと、一時停止状態になります。インジケーターは再生中点灯します。

⑧ MD部操作ボタンとインジケーター

●ボタン〔53〜55〕
MDを録音待機状態にします。ソースがCDのときは、CDダビング（2回押すとCD高速ダビング）を開始します。インジケーターは録音待機状態のとき、または録音中点灯します。

■ボタン〔32〕
MDの再生や録音を停止します。インジケーターはMDが入っているときに点灯し、MD読み込み中と取り出し中は点滅します。

►/❚❚ボタン〔32、53、55〕
MDの再生や録音（録音待機状態から）を始めます。再生中に押すと、一時停止状態になります。インジケーターは再生または録音中点灯します。

⑨ **TUNER部操作ボタンとインジケーター**
FM/AMボタン〔22、25〕
ソースをFMまたはAMに切り換えます。

PRESET◀/▶ボタン〔25、53〕
登録した放送局を選びます。インジケーターはソースがFM/AMのとき点灯し、ボタンを押したときに一瞬消灯します。

⑩ **|◀◀/◀◀、▶▶/▶▶|ボタン〔22、28、32〕**
CD、MDのときは、押すたびに前後の曲を選びます。再生中に押し続けると、曲を早戻しまたは早送りします。FM/AMのときは、周波数を合わせます。

⑪ **INPUT◀/▶ボタン〔21、50、51、54、55〕**
聞くソースを選びます。

⑫ **リモコン受光部〔9〕**
リモコンからの信号を受信します。

⑬ **表示部〔12〕**
12ページをご覧ください。

⑭ **PHONES端子〔21〕**
ヘッドホンのミニプラグを接続します。

⑮ **DISPLAYボタン〔29、33、50、51〕**
表示部の情報を切り換えます。

⑯ **STANDBYインジケーター〔20〕**
スタンバイ状態のときに点灯します。

背面パネル

① **ANTENNA（AM）端子**
付属のAM室内アンテナを接続する端子です。

② **ANTENNA（FM75Ω）端子**
付属のFM室内アンテナ、またはFM屋外アンテナを接続する端子です。

③ **RI REMOTE CONTROL端子**
RI端子付きのオンキヨー機器と接続し、連動させるための端子です。
RIケーブルの接続だけではシステムとして連動しません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

④ **DOCK/TAPE（OUT/IN）端子**
オンキヨー製リモートインタラクティブドック（RIドック）やカセットテープデッキなどを接続する端子です。

⑤ **PRE OUT端子**
アンプ内蔵のサブウーファーを接続する端子です。

⑥ **SPEAKERS端子**
スピーカーを接続する端子です。
同梱のスピーカー（D-T2）を接続します。

⑦ **電源コード**

接続については、15～19ページをご覧ください。

表示部

① **レベル表示**
音声レベルを表示します。

② **MUTING（ミューティング）表示**
ミューティングが働いているときに点滅します。

③ **S.BASS（スーパーバス）表示**
スーパーバスが働いているときに点灯します。

④ **FM/AM受信状態表示**
FM/AM受信時の状態を表示します。（☞22、25ページ）

⑤ **再生モード表示**

1GR（グループ）	：1グループ再生時に点灯します。
MEM（メモリー）	：メモリー再生が設定されているときに点灯します。
RDM（ランダム）	：ランダム再生時に点灯します。
REPEAT（リピート）	：全曲リピート再生時に点灯します。
REPEAT 1	：1曲リピート再生時に点灯します。

⑥ **DIGITAL（デジタル）表示**
再生ソースがデジタルのときに点灯します。CDダビング時はデジタル録音のときに点灯します。

⑦ **CD再生表示**
CDの再生状態を表示します。

⑧ **DUB（ダビング）表示**
CDダビング時に点灯します。トラック指定CDダビング時は点滅します。

⑨ **MD再生、録音表示**
MDの再生、録音状態を表示します。

⑩ **TOC（トック）表示**
録音や編集などでMDの情報が変更されたときに点灯し、それをMDに書き込むときに点滅します。

⑪ **録音モード表示**
録音モードを表示します。

⑫ **L.SYNC（レベルシンク）表示**
レベルシンクが働いているときに点灯します。

⑬ **SLEEP（スリープ）表示**
スリープタイマーが働いているときに点灯します。

⑭ **TIMER（タイマー）表示**
タイマーのセット状態を表示します。

1 ～4	：タイマー 1～4設定時にその番号が点灯します。
□	：タイマー録音設定時に番号の枠が点灯します。

⑮ **SOURCE（ソース）表示**
録音中、MDの録音時間とともに録音ソースが表示されているときに点灯します。

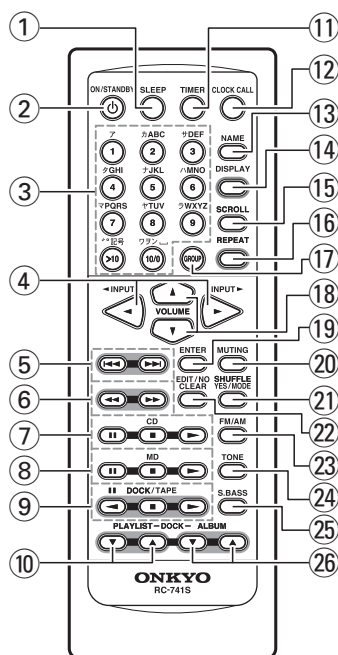
⑯ **多目的表示部**
入力ソースや再生時間などを表示します。

⑰ **GROUP（グループ）/TRACK（トラック）表示**

GROUP（グループ）表示	：グループ番号が表示されているときに点灯します。
TRACK（トラック）表示	：トラック番号が表示されているときに点灯します。

⑱ **MD表示**
録音中、時間表示がMD情報のときに点灯します。

⑲ **CD/MD情報表示**
多目的表示部に表示されている情報によって、それを示す表示が点灯します。

リモコン(RC-741S) 〔 〕のページに主な説明があります。

① SLEEPボタン〔61〕
スリープタイマーの設定に使用します。

② ON/STANDBYボタン〔20、60、64〕
電源のオン/スタンバイを切り換えます。

③ 数字、文字ボタン〔29、33、60、69〕
選曲時に使用します。また、曲名などの文字入力時や時刻設定時に使用します。

④ INPUT◀/▶ボタン〔21、40〜47〕
押すごとに入力が切り換わります。

⑤ ⏮/⏭ボタン〔23〜27、29、30、33、34、36〜47、56〜60、62〜66〕
CD、MDのときは前後の曲を選びます。ラジオのときは登録した放送局を選びます。設定時は項目を選びます。

⑥ ◀◀/▶▶ボタン〔22、29、33、70〕
CD、MDのときは再生中の曲を早戻し、早送りします。文字入力時はカーソルを移動します。ラジオのときは周波数の選択に使用します。

⑦ CD操作ボタン〔29〕
- ⏸：再生を一時停止します。
- ■：再生を停止します。
- ▶：再生を始めます。

⑧ MD操作ボタン〔33〕
- ⏸：再生、録音を一時停止します。
- ■：再生、録音を停止します。
- ▶：再生、録音（録音待機状態から）を始めます。

⑨ 別売のオンキヨー製RIドック/テープデッキ操作ボタン
- ◀/⏸：RIドックの場合、一時停止として働きます。テープデッキの場合は、裏面を再生します。
- ■：再生、録音や早送り、巻戻し（早戻し）を停止します。
- ▶：再生を始めます。テープデッキの場合は、表面を再生します。

⑩ PLAYLIST▼/▲ボタン
接続しているRIドックのプレイリストを選びます。

⑪ TIMERボタン〔60、62、65〕
現在時刻やタイマーの設定を行います。

⑫ CLOCK CALLボタン〔60〕
時刻を表示させるときに押します。

⑬ NAMEボタン〔69〕
文字を入力するときに使用します。

⑭ DISPLAYボタン〔25、29、33、59、60、69〕
押すたびに表示部の情報が切り換わります。

⑮ SCROLLボタン〔33、69〕
MDの曲名などをスクロール表示します。

⑯ REPEATボタン〔31、35〕
CDやMDをくり返し再生します。

⑰ GROUPボタン〔36、37、39〜42〕
MDのグループを選択するときに押します。

⑱ VOLUME▼/▲ボタン〔21〕
音量を調節します。

⑲ ENTERボタン〔23、24、26、27、30、34、37〜47、56〜60、62〜66、69〕
編集や各設定の項目を確定します。

⑳ MUTINGボタン〔21〕
音を一時的に消します。

㉑ SHUFFLE/YES/MODEボタン〔24、25、30、31、34、35、37〕
設定などの項目を決定します。メモリー再生やランダム再生を設定します。

㉒ EDIT/NO/CLEARボタン〔23、24、26、27、38〜47、56〜59〕
編集や設定に入ります。設定中は操作を取り消して元に戻ります。

㉓ FM/AMボタン〔22、23、25〕
入力をチューナーに切り換えます。押すたびに、FMとAMを切り換えます。

㉔ TONEボタン〔66〕
低音（BASS）、高音（TREBLE）を調整します。

㉕ S.BASSボタン〔66〕
重低音を強調します。

㉖ ALBUM▼/▲ボタン
接続しているRIドックのアルバムを選びます。

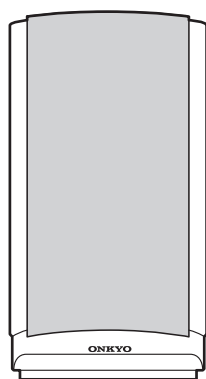
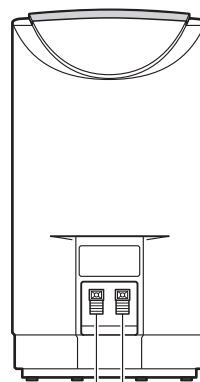
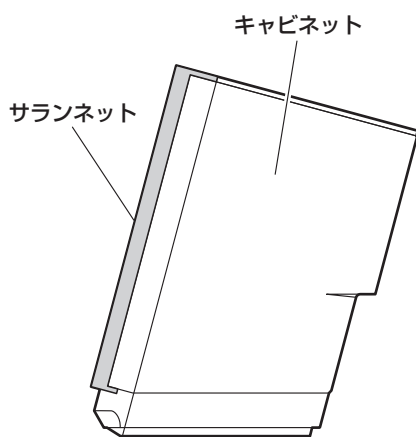
※オンキヨー製のRIドックやテープデッキを接続しているときに使用できるボタンについての詳細は、67ページをご覧ください。

各部の名前と主な働き

スピーカー

D-T2にはスピーカーの左右の区別はありません。どちらを左側/右側で使用しても音質は変わりません。

●前面

●背面

●側面

ご注意
このスピーカーシステムは前面のサランネットを取りはずすことはできません。無理にはずそうとすると故障の原因となります。

接続する

スピーカーを接続する

右側(Rチャンネル)の
スピーカー

左側(Lチャンネル)の
スピーカー

赤い線側

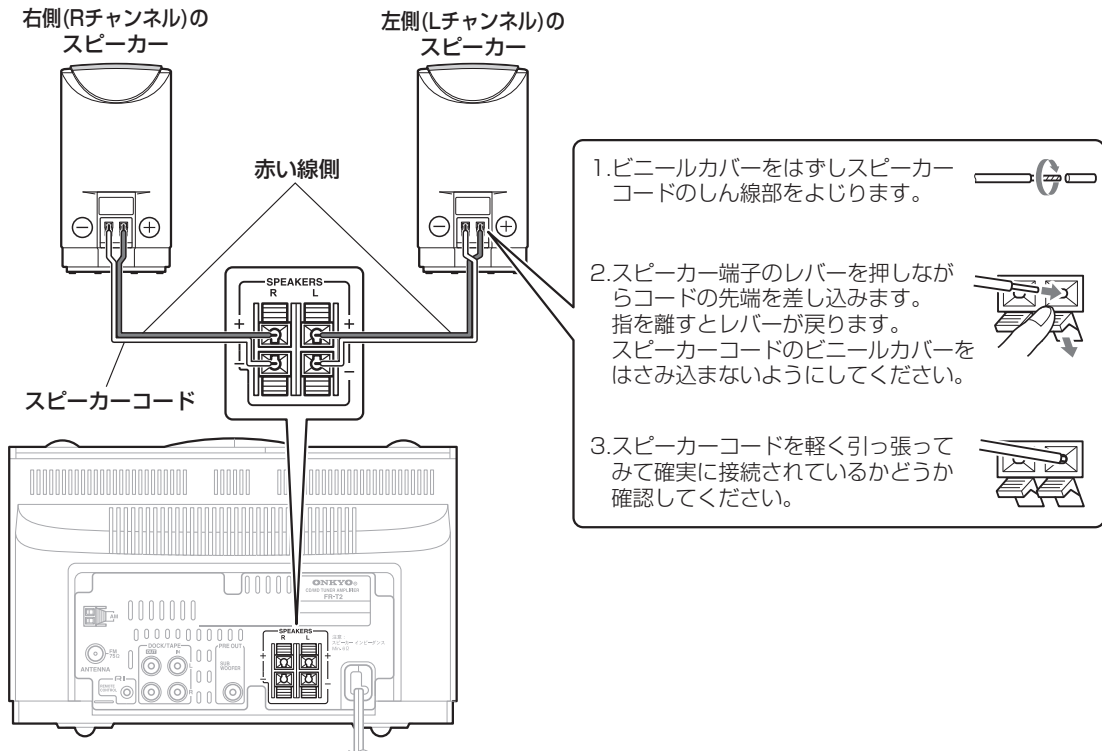
SPEAKERS
R L

スピーカーコード

ONKYO
FR-T2

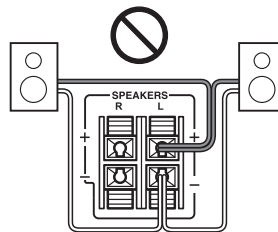
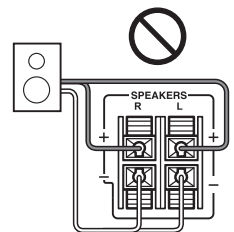
1.ビニールカバーをはずしスピーカーコードのしん線部をよじります。

2.スピーカー端子のレバーを押しながらコードの先端を差し込みます。
指を離すとレバーが戻ります。
スピーカーコードのビニールカバーをはさみ込まないようにしてください。

3.スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

- スピーカーのプラス⊕と本体のプラス⊕を、スピーカーのマイナス⊖と本体のマイナス⊖を接続します。
付属のスピーカーコードの赤い線の方をプラス⊕側に接続してください。
- 故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線どうしやしん線を背面パネルに絶対に接触させないでください。

- 右側に設置するスピーカーは、本機のスピーカー端子のRに、左側に設置するスピーカーはLに接続してください。
- スピーカーはインピーダンスが6Ω（オーム）～16Ωのものを接続してください。6Ω未満のスピーカーを接続すると、アンプ部が故障することがあります。
同梱のスピーカー(D-T2)は、本機(FR-T2)に合うように設計されています。本機(FR-T2)と他のスピーカーを組み合わせてご使用になった場合の故障については、保証できない場合がありますので、ご了承ください。

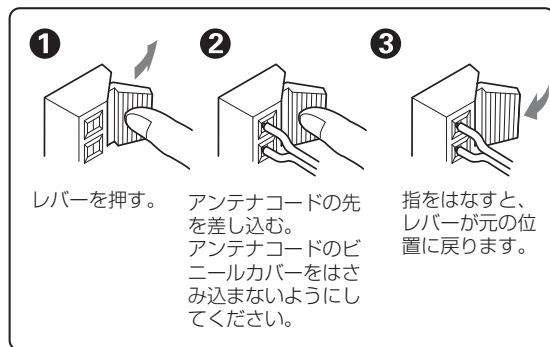
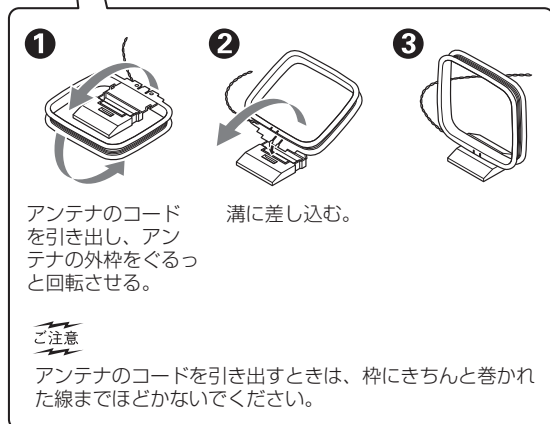
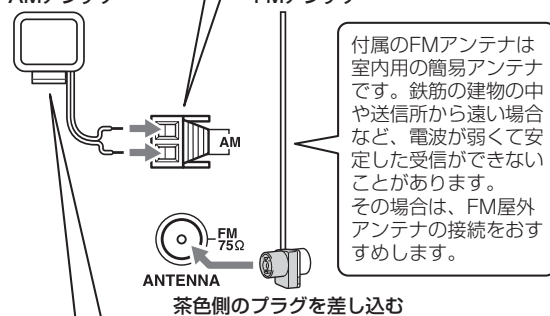
- 片チャンネルのスピーカー端子に複数のスピーカーを接続(例 1)したり、1つのスピーカーから両チャンネルのスピーカー端子に並列に接続(例 2)しないでください。故障の原因になります。

例１：　　例２：

ラジオのアンテナを接続する

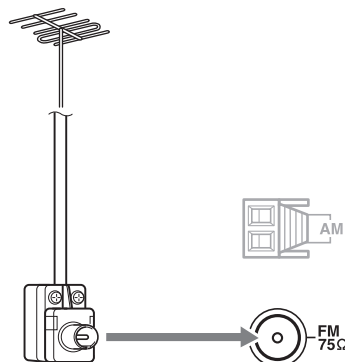
付属のFM/AMアンテナを接続する

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。(☞22ページ)

ご注意

アンテナのコードを引き出すときは、枠にきちんと巻かれた線までほどかないでください。

！ヒント

AM アンテナのコードの先端は上下端子のどちらに接続してもかまいません。(スピーカーコードのように、⊕/⊖ の区別はありません。)

FM屋外アンテナを接続する

本機には付属していません。
プラグがプッシュ式のものをお使いください。
ネジ式のF型コネクターは接続できません。

FM屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

ご注意

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 送電線の近くは危険ですので、絶対にアンテナを設置しないでください。

！ヒント

ケーブルテレビをご覧の方は、FMがテレビと同時に送られている場合がありますので、それを利用すれば安定したFM受信が可能です。受信方法や周波数については、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

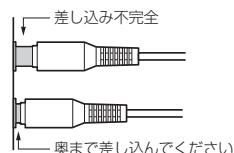
外部機器を接続する

接続の前に

- イラストはオンキヨー製品ですが、他の機器でも接続方法は同じです。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードはすべての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 白いプラグを左チャンネル（Lの表示）、赤いプラグを右チャンネル（Rの表示）に接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの映像が乱れたり、CD/MDチューナーアンプの出力音声に雑音が入るときは、CD/MDチューナーアンプをテレビからできるだけ離して設置してください。

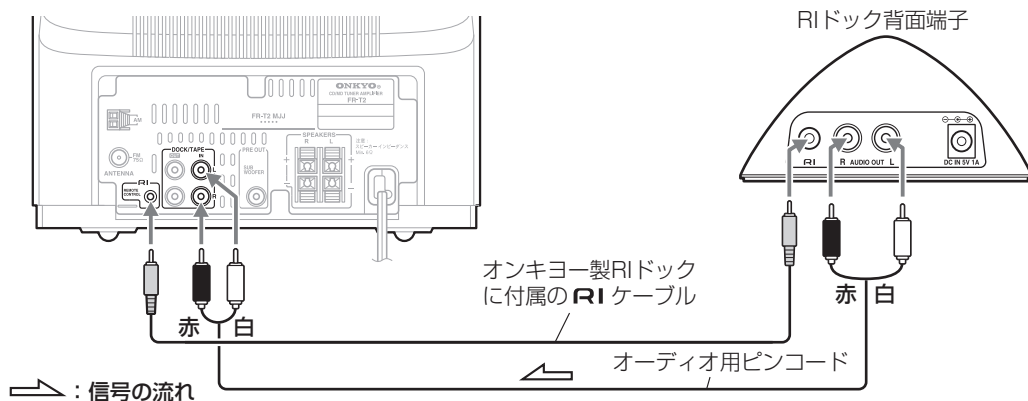
設置の際は、CD/MDチューナーアンプの上部に他の機器をのせないでください。通風孔がふさがれて危険です。

音声ケーブルと端子の種類について

製品にケーブルは付属していません。

ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
オーディオ用 ピンコード		L R	アナログ音声を伝送します。

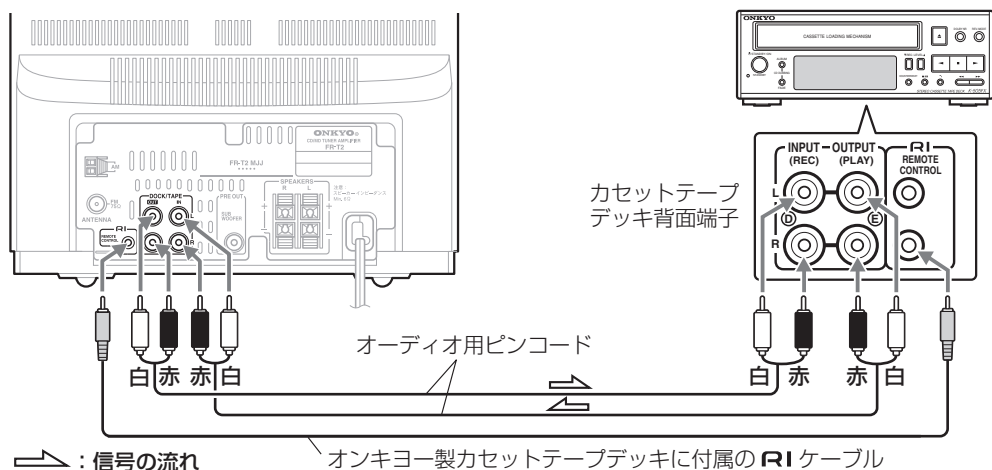
リモートインタラクティブドック(RIドック)を接続する

オンキヨー製DS-A1XPなどのRIドックを本機と接続します。
本機のDOCK(ドック)/TAPE(テープ) IN(イン)端子とRIドックの音声出力端子を接続してください。本機のDOCK(ドック)/TAPE(テープ) OUT(アウト)端子には何も接続しません。

オンキヨー製RIドックとRI端子を接続すると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードの接続も必要です。）

- 外部入力の表示名称を「DOCK(ドック)」にする必要があります。（☞67ページ。お買い上げ時の設定は「DOCK」ですので、そのままお使いください。）また、RIドックのRI MODE(モード)スイッチをDOCKにしてください。
- 本機付属のリモコンでRIドックも操作できます。（☞67ページ）
- オンキヨー製RIドックを再生すると、本機の入力が自動的にDOCKに切り換わります。

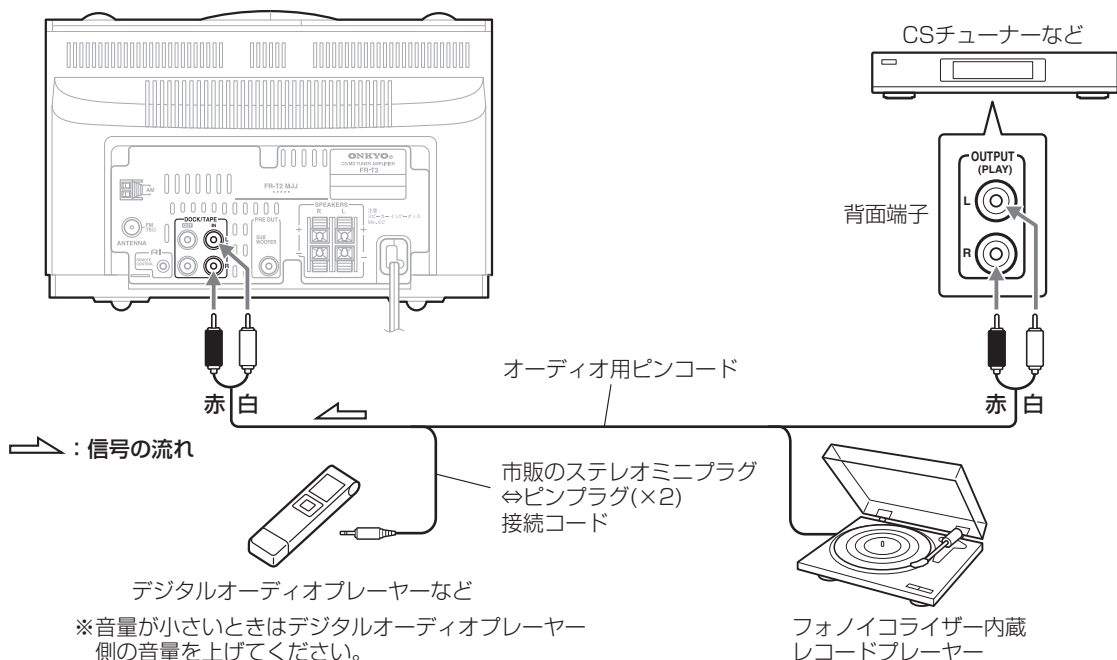
外部機器を接続する

カセットテープデッキを接続する（イラストは別売のオンキヨー製カセットテープデッキとの接続例です。）

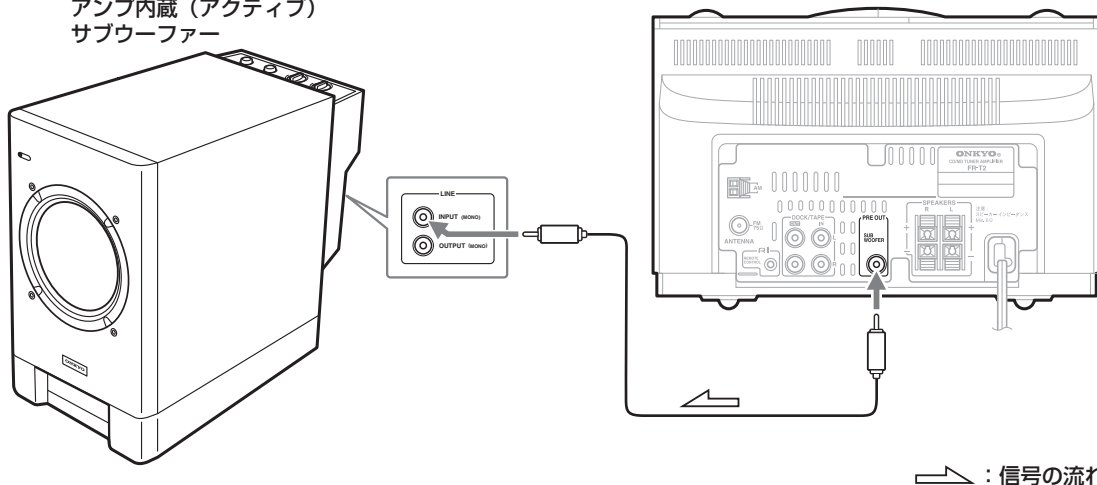
本機のDOCK/TAPE OUT端子とカセットテープデッキの音声入力端子を接続してください。
本機のDOCK/TAPE IN端子とカセットテープデッキの音声出力端子を接続してください。

オンキヨー製カセットテープデッキとRI端子を接続すると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードの接続も必要です。）

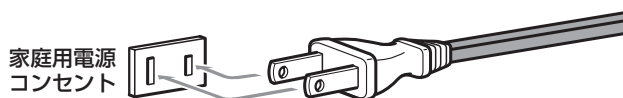
- 外部入力の表示名称を「TAPE（テープ）」にする必要があります。（☞67ページ）
- 本機付属のリモコンでオンキヨー製カセットテープデッキも操作できます。（☞67ページ）
- オンキヨー製カセットテープデッキを再生すると、本機の入力が自動的にTAPEに切り換わります。
- システム録音操作ができます。（☞54ページ）

他の機器を接続する

本機の DOCK（ドック）/TAPE（テープ） IN（イン） 端子と外部機器の音声出力端子を適切な接続コードを使用して接続してください。
外部機器の音声を聞くときは、入力を「DOCK（ドック）」（または「TAPE（テープ）」）に切り換えてください。

外部機器を接続する

サブウーファーを接続する

本機のサブウーファー出力はプリアウトです。サブウーファーはアンプ内蔵のもの（アクティブサブウーファー）を接続してください。

電源コードを接続する

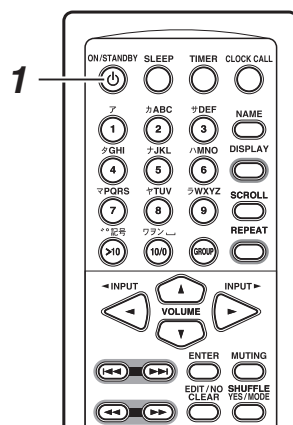
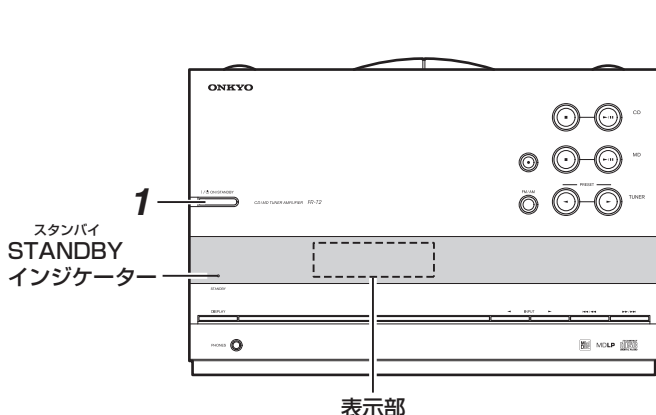
すべての接続が完了していることを確認してください。
電源コードを接続すると、本機はスタンバイ状態となり、STANDBY インジケーターが点灯します。

基本の操作を理解する

電源を入れる

電源を入れる前に

● 15 ～ 19 ページの接続がすべて終了しているか確認してください。

1

本体

I/⏻ ON/STANDBY

または

リモコン

ON/STANDBY

本体またはリモコンのON/STANDBY（オン/スタンバイ）ボタンを押す

STANDBY（スタンバイ）インジケーターが消え、表示部が点灯して電源が入ります。
電源を切るときは、もう一度押します。

！ヒント

本機にRIケーブルおよびオーディオ用ピンコードで接続されているオンキヨー製RIドックやカセットテープデッキの電源を入れたり再生を始めると、本機の電源が自動的に入ります。また、本機のオンとスタンバイを切り換えると、接続されているこれらの機器の電源が入ったりスタンバイ状態になります。

ご注意

電源コードをコンセントから抜く場合は、必ず ON/STANDBY ボタンで本機をスタンバイ状態にしてください。電源スイッチ付きのテーブルタップに電源コードを接続しているときも、電源を切る前に本機をスタンバイ状態にしてください。

デモンストレーション機能について

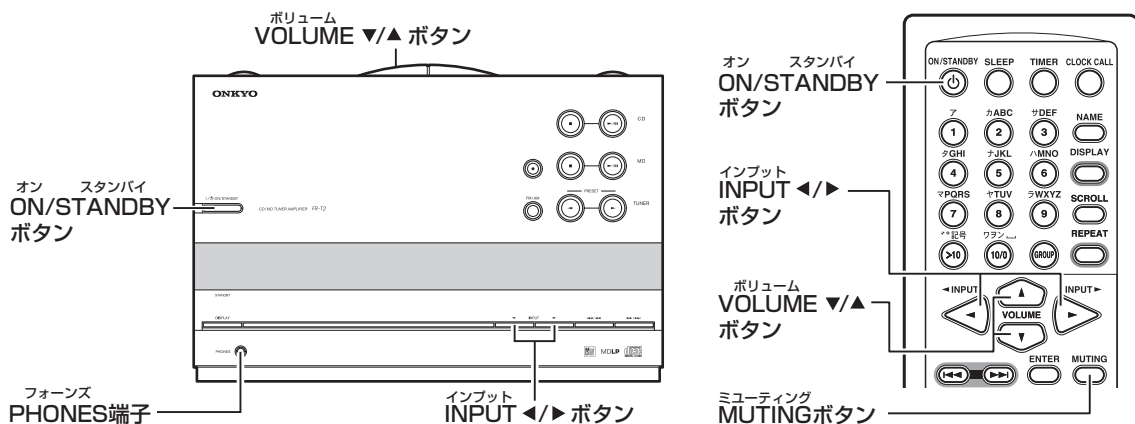
本機にはデモンストレーション機能があります。
入力が順に切り換わってS.BASS（スーパーバス）などが切り換わるときは、デモンストレーション機能を解除（停止）してください。

解除（停止）する

電源をスタンバイ状態にして「DEMO（デモ）テイシ：DISP（ディスプレイ）」と点滅している間に、本体のDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押します。

実行する

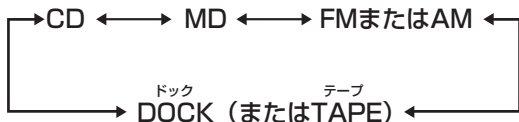
スタンバイ状態のときに本体のDISPLAYボタンを押します。「DEMOカイシ：DISP」と点滅している間に、もう一度本体のDISPLAYボタンを押します。

基本の操作を理解する

入力を切り換える

本体またはリモコンのINPUT◀/▶ボタンを押して切り換える

CD、MD、FM/AM放送、接続した外部機器から選べます。ボタンを押すごとに、入力が以下のように切り換わります。

→CD ←→ MD ←→ FMまたはAM ←

DOCK（またはTAPE）

！ヒント

DOCK/TAPE端子に接続している機器がカセットテープデッキの場合は、表示部に表示される名前を変更することができます。（☞67ページ）また、オンキヨー製のカセットテープデッキをRI接続しているときは、名前を変更するとシステム動作が可能になり、本機に付属のリモコンで操作することができます。

音量を調節する

本体またはリモコンのVOLUME▼/▲ボタンを押す

！ヒント

本体のVOLUME▼/▲ボタンの中央部は押せません。ボタンの左右の端を押して音量を調節してください。

音を一時的に消す

リモコンのMUTINGボタンを押す

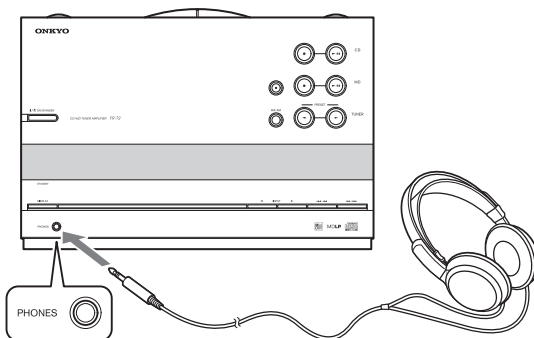
MUTING表示とVOLUMEインジケーターが点滅し、音が消えます。

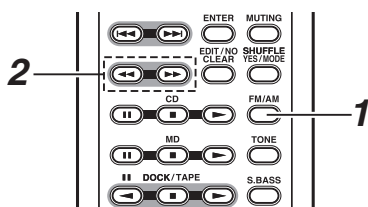
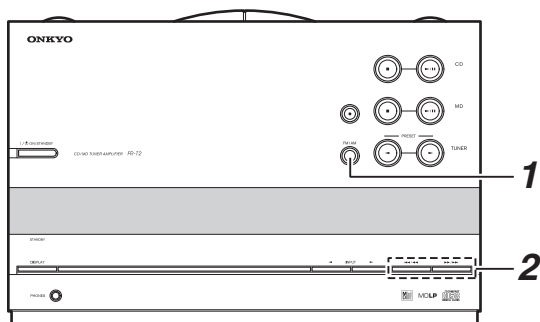
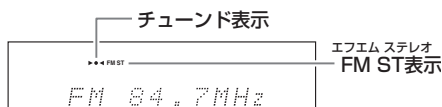
解除するには…

もう一度MUTINGボタンを押します。

- 音量を変えたり、ON/STANDBYボタンを押した場合にも解除されます。

ヘッドホンで聞くときは

ヘッドホンのステレオミニプラグをPHONES端子に接続します。接続するときは、音量を下げてください。
ヘッドホンを接続するとスピーカーの音は消えます。

FM/AM放送を聞く

手動で周波数を合わせて聞く

チューニングしている間は、▶ ◀が点滅します。
放送局を受信するとチューンド表示（▶●◀）が点灯します。
FMステレオ局を受信すると、FM ST（エフエムステレオ）表示が点灯します。

1

本体

または

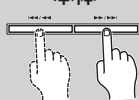
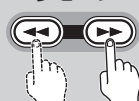
リモコン

本体またはリモコンのFM/AMボタンを押す

FMとAMを切り換えるには、もう一度押します。

2

本体

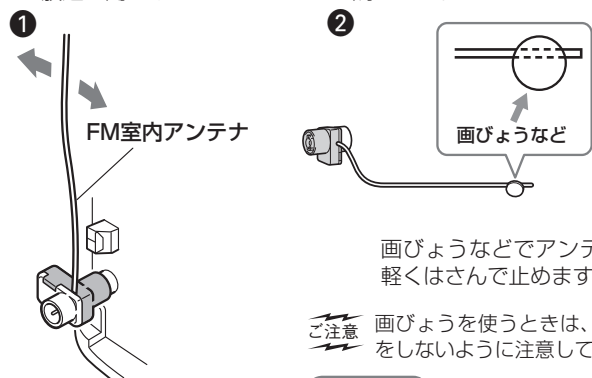
または

リモコン

本体の⏮◀◀/◀◀、▶▶/▶▶⏭ボタンまたはリモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して、表示部を見ながら周波数を合わせる

1回押すごとに周波数がFMでは0.1 MHz、AMでは9kHzずつ変わります。押し続けると周波数が連続して変化します。ボタンをしばらく押してから手を離すと自動的に周波数が上がり（下がり）、放送局があると自動的に停止します。

アンテナを調整する

FM室内アンテナを調整して固定する

FM放送を聞きながらFMアンテナを調整します。

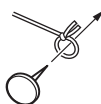
❶

アンテナの方向を変えて受信状態が良好になる設置場所を見つけます。

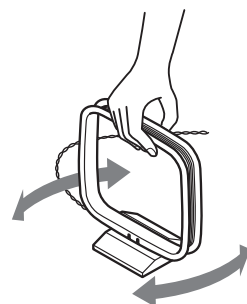
❷

画びょうなどでアンテナの先を軽くはさんで止めます。

ご注意　画びょうを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

！ヒント

アンテナがはずれてしまう場合は、アンテナの先端を結ぶと止めやすくなります。

AM室内アンテナを調整する

AM放送を聞きながら受信状態が良好になるようアンテナの位置を変えたり向きを調整します。

！ヒント

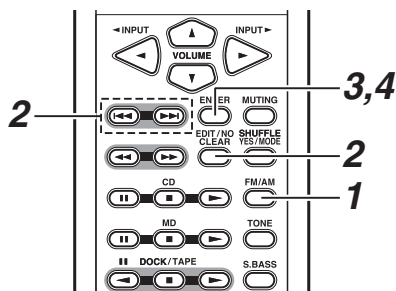
マンションなど鉄筋の建物の場合、窓際などできるだけ電波が届きやすいところにアンテナを設置してください。

放送局を登録して聞く

FMを自動で登録する－オートプリセット－（リモコンのみ）

登録すれば放送局を周波数で合わせなくても選局できます。受信から登録まで、自動（オート）で行えます。AM局は自動で登録できませんので、次ページをご覧ください。

ご注意

すでに放送局を登録してある場合、オートプリセットを行うと前の登録局はすべて消え、新たに登録されます。

操作の前に

電源を入れてください。

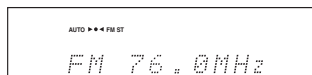
FMの受信状態が良好になるようにFMアンテナの位置を調整してください。（☞22ページ）

ご注意

受信環境によっては、放送局でないノイズなどが登録されることがあります。このようなチャンネルは削除してください。（☞27ページ）

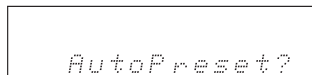
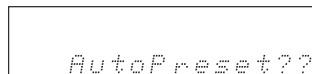
1

FM/AMボタンを押して「FM」を表示させる

AUTO FM ST
FM 76.0MHz

2

EDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタンを押した後、⏮/⏭ボタンを押して「AutoPreset?（オートプリセット）」を表示させる

AutoPreset?

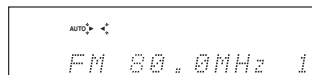
3

ENTER（エンター）ボタンを押す

AutoPreset??

再確認のため、「AutoPreset??（オートプリセット）」が表示されます。

中断するときはEDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタンを押してください。

4

ENTERボタンを押す

AUTO
FM 80.0MHz 1

オートプリセットが始まります。

周波数の低い順に自動的に最大20局まで登録していきます。

！ヒント

登録したあとにこんなこともできます。

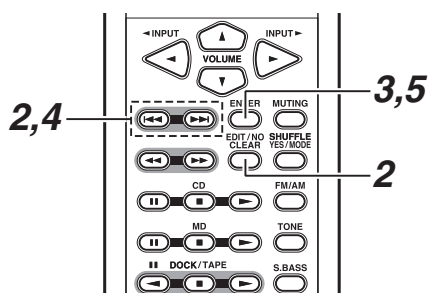
- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞68ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞27ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞26ページ

1局ずつ登録する－プリセットライト－（リモコンのみ）

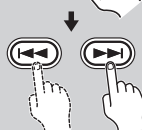
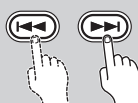
AM局は周波数を手動で合わせて、1局ずつ登録します。FM局は、この方法と自動で登録する方法「オートプリセット」があります。

予備知識

- FM、AM合わせて30チャンネルまで登録できます。例えば、FMで8チャンネル使っている場合はAMで22チャンネルまで登録できます。
- FM、AMは独立して表示されますので、FMとAMに同じチャンネル番号があってもかまいません。
- 1局ずつ登録する場合は、お好みのチャンネル番号に登録することが可能です。例えばAMチャンネル2、5、9のようにすることができます。

1
放送局を受信する（☞22ページ）

2
EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、⏮/⏭ボタンを押して「Preset Write?」を表示させる

PresetWrite?

3
ENTERボタンを押す

登録するチャンネルが点滅表示されます。
中断するときはEDIT/NO/CLEARボタンを押します。

4
別のチャンネルに登録するときは、⏮/⏭ボタンを押す

AM 810kHz 4

5
ENTERボタンを押して決定する

「Complete」（完了）と表示された後、放送局が選んだチャンネルに登録されます。

Complete

「Overwrite?」（上書きしますか？）と表示されたときは

Overwrite? 4

選んだチャンネル番号は登録済みです。
- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局を登録するときは、YES/MODEボタンを押します。
- 登録をやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

「Memory Full」と表示されたときは

Memory Full

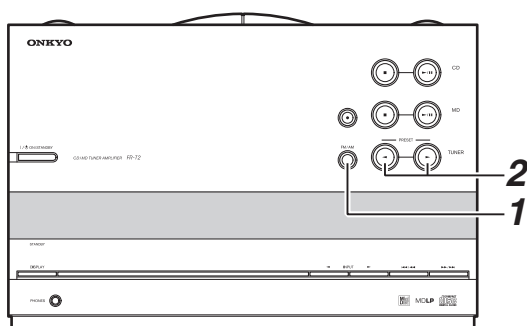
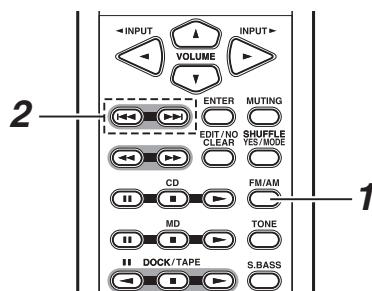
FM、AM合わせてすでに30チャンネル登録されています。不要なチャンネルを削除してから（☞27ページ）、再度登録してください。

6
次の局を登録するときは、手順1～5をくり返す

！ヒント

登録したあとにこんなこともできます。
- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞68ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞27ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞26ページ

登録した放送局を聞く　*あらかじめ放送局を登録しておいてください。（☞23、24 ページ）*

■本体で操作する

■リモコンで操作する

1 FM/AMボタンを押す

もう一度押すとFMとAMが切り換わります。

FM　または　AM

2 PRESET（プリセット）◀/▶ボタンを押して登録した放送局を選ぶ

AUTO ▶•◀ FM ST
FM 84.7MHz 1

選んだプリセット番号

1 FM/AMボタンを押す

もう一度押すとFMとAMが切り換わります。

2 ⏮/⏭ボタンを押して登録した放送局を選ぶ

！ヒント

数字ボタンで登録した放送局を選ぶこともできます。

例）　登録番号	押すボタン
8	8
10	10/0
22	>10 2 2

表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンのDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押すと、表示部の情報を切り換えることができます。

FM/AM周波数 ⟷ 放送局につけた名前

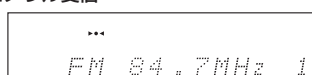
- 登録した放送局に名前がついていないときは、「No Name（ノー ネーム）」が表示され、周波数表示に戻ります。
  ☞「MD、登録した放送局に名前をつける」（68 ページ）

FM放送を受信しにくいときは

AUTO（ステレオ）受信

AUTO ▶•◀ FM ST
FM 84.7MHz 1

モノラル受信

▶•◀
FM 84.7MHz 1

電波の弱い所や雑音の多い所では、リモコンのYES/MODE（イエス/モード）ボタンを押し、AUTO（オート）表示を消してモノラル受信にしてください。雑音や音切れを軽減できます。
AUTO（オート）に戻すときは、同じボタンを再度押します。
通常はAUTOにしておいてください。自動的にFMステレオ受信となります。

FM/AMの登録した放送局を編集する

削除とコピーの2つの基本機能を使って、不要なチャンネルの削除、あるチャンネルに登録された放送局を別のチャンネルにコピー、チャンネル番号の変更などができます。

編集のヒント

チャンネル番号を変更するには

コピーと削除機能を使います。
例えば、FMで4チャンネルに登録された放送局を6チャンネル（空きチャンネル）に変えるときは、
❶ 4チャンネルを6チャンネルにコピーする。
❷ 4チャンネルを削除する。
という手順で行うことができます。

登録した放送局をコピーする（リモコンのみ）

登録した放送局をコピーすると、放送局につけた名前（☞68ページ）も同時にコピーされます。

1 コピーするチャンネルを呼び出す

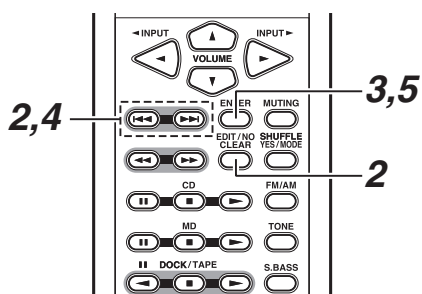
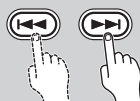
例）4CH、FM80.0MHzを選んだとき

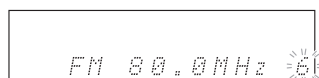
FM 80.0MHz 4

2 EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、|◄◄/►►|ボタンを押して「Preset Copy?」を表示させる

3 ENTERボタンを押す

FM 80.0MHz 4

チャンネル表示が点滅します。

4 |◄◄/►►|ボタンを押して コピー先のチャンネルを選ぶ

FM 80.0MHz 6

5 ENTERボタンを押す

ENTER

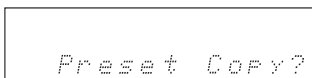
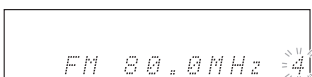
「Complete」（完了）と表示された後、放送局が指定のチャンネルにコピーされます。

「Overwrite?」（上書きしますか?）と表示されたときは

Overwrite? 6

選んだチャンネルは登録済みです。

SHUFFLE YES/MODE

- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局に書き換えるときは、YES/MODEボタンを押します。
- 書き換えをやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

EDIT/NO CLEAR

FM/AMの登録した放送局を編集する

登録した放送局を削除する（リモコンのみ）

1

削除するチャンネルを呼び出す

例）4CH（チャンネル）、FM80.0MHzを選んだとき

FM 80.0MHz 4

2

EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押した後、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Preset（プリセット） Erase（イレーズ）?」を表示させる

PresetErase?

3

ENTER（エンター）ボタンを押す

再確認のメッセージが表示されます。

削除をやめるときは、EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押します。

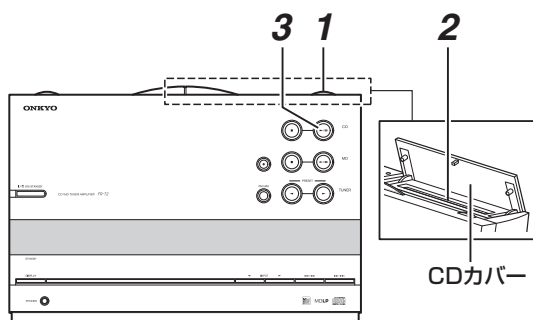
4

ENTERボタンを押す

「Complete（コンプリート）」（完了）と表示された後、登録した放送局が削除されます。

CDを聞く

基本の操作

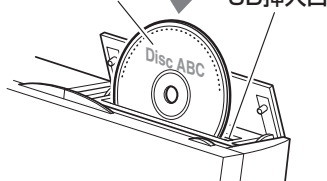
1

CD OPEN/EJECT（オープン/イジェクト）ボタンを押す

CDカバーが開きます。
スタンバイ状態のときは電源が入ります。

2

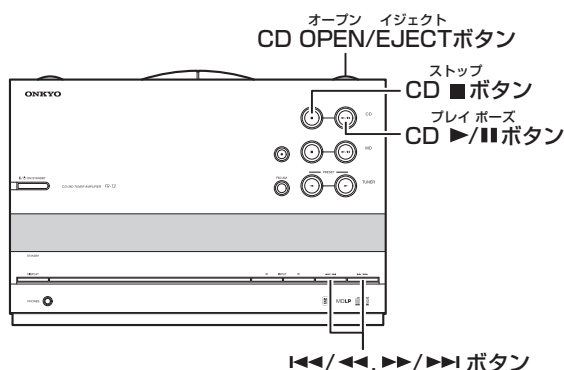
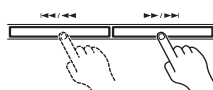
CD挿入口にCDを入れる

CDが本体に引き込まれます。

- CDカバーは自動的には閉まりません。手で閉めてください。
- CDを入れると、CD ■（ストップ）ボタンのインジケーターが点滅し、CD読み込み後点灯します。

8cmCDもそのまま入れてください。
アダプターを使用すると、故障の原因になります。

ご注意

電源が入っていないとCDを入れることはできません。

3

CD ►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押す

再生が始まります。

本体で操作する

聞きたい曲を選ぶ

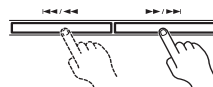
再生中に⏮/◀◀ボタンを押すと再生中の曲の頭に戻り、さらに押すと1曲ずつ前に戻ります。停止中は⏮/◀◀ボタンを押すと1曲ずつ前の曲に戻ります。▶▶/⏭ボタンを押すと1曲ずつ次の曲に進みます。

早戻し/早送りをする

再生中、一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離なします。⏮/◀◀ボタンを押し続けると早戻し、▶▶/⏭ボタンを押し続けると早送りになります。

一時停止する

CD ►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押します。

- 表示部に❚❚（ポーズ）表示が点灯します。
- もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

CD ■（ストップ）ボタンを押します。

CDを取り出す

CD OPEN/EJECT（オープン/イジェクト）ボタンを押すとCDカバーが開きCDが出てきます。

- CDを取り出した後、CDカバーを手で閉めてください。

CDが取り出せないときは

CDが入っているのに「No Disc（ノー ディスク）」と表示されて取り出せないときは、CD OPEN/EJECTボタンを3秒以上押し続けてください。

CDを聞く

リモコンで操作する

聞きたい曲を選ぶ

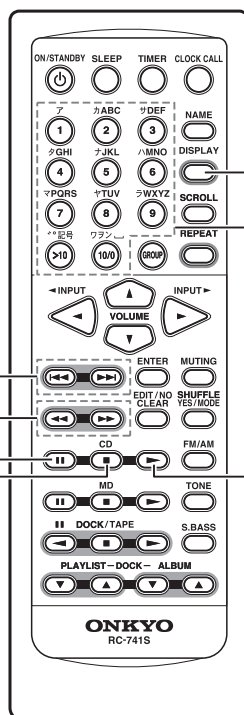
再生中/一時停止中に|◀◀ボタンを押すと聞いている曲の頭に戻り、さらに押すと1つずつ前の曲に戻ります。
▶▶|ボタンを押すと1つずつ次の曲に進みます。

早戻し/早送りをする

再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。◀◀ボタンを押し続けると早戻し、▶▶ボタンを押し続けると早送りになります。

再生を一時停止する

もう一度押すと、一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

表示部の情報を切り換える

DISPLAYボタンを押します。

数字ボタン

選曲して再生する

10/0ボタン :10または0を選びます。
>10ボタン : 2桁以上の曲番を選びます。

例） 曲番	押すボタン
8	8
10	10/0
34	>10、3、4

11曲目以降を再生するときは、>10を押してから選曲します。

再生する

CDがセットされていれば、スタンバイ状態でも自動的に電源が入り、再生が始まります。

表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンのDISPLAYボタンをくり返し押すと、表示部の情報を切り換えることができます。

停止中

総曲数　総再生時間（DISC TOTAL）

再生中、一時停止中

曲の経過時間
↓
曲の残り時間（REMAIN）
↓
ディスク全体の残り時間（TOTAL REMAIN）

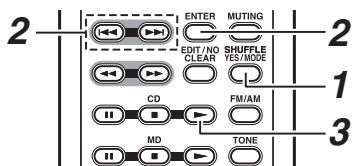
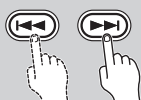
ご注意

- ディスクを再生できない場合は、72ページを参照して本機に対応しているディスクかどうかご確認ください。
- CD EJECT後、CDが挿入口にある状態で長時間放置しないでください。ディスクの変形や破損の原因となります。ディスクはケースなどに入れて大切に保管してください。

CDのいろいろな再生

基本の再生以外に、いろいろな再生方法があります。

メモリー再生（リモコンのみ）

- 曲を指定し（25曲まで）、その順序で再生します。
- CDダビンク機能と組み合わせると、指定した曲をその順序でMDに録音できます。（CD高速ダビングはできません。）

1

SHUFFLE YES/MODE

入力がCDで停止中

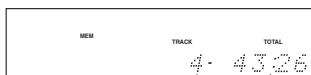
YES/MODEボタンを（くり返し）押して「MEM」を表示させる

「MEM」が点灯

2

ENTER

◀◀/▶▶ボタンを押して曲を選び、ENTERボタンを押して確定する

次の曲を選ぶときはこの手順をくり返します。

予約曲番　予約曲の合計再生時間

数字ボタンで曲を選ぶこともできます。（☞29ページ）

間違って予約した曲を取り消すには

EDIT/NO/CLEARボタンを（くり返し）押すと、最後に入力したものから順に取り消されていきます。

！ヒント

予約時間の合計が99分59秒を超えると合計時間表示が「--:--」となりますが、再生に支障はありません。
26曲以上は予約できません。「Memory Full」と表示されます。

3

CD ▶ボタンを押す

メモリー再生が始まります。
再生が終わっても予約内容は消えません。

再生中の曲番

予約した曲の中で選曲する

再生中に◀◀/▶▶ボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

予約した内容を確認するには

停止中に◀◀/▶▶ボタンを押して予約内容を確認できます。

予約した曲を取り消すには

- メモリー再生モードの停止中に、EDIT/NO/CLEARボタンを（くり返し）押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
- 一度再生モードを切り換えると、予約した内容は消えます。

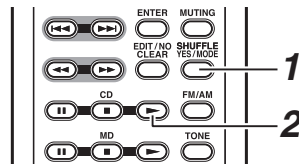
解除するには

☞「通常再生に戻す」31ページ
- ディスクを取り出しても解除されます。

ランダム再生（リモコンのみ）

- 曲順をランダムに並べかえて再生します。

1

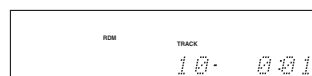
SHUFFLE YES/MODE

入力がCDで停止中

YES/MODEボタンを（くり返し）押して「RDM」を表示させる

「RDM」が点灯

2

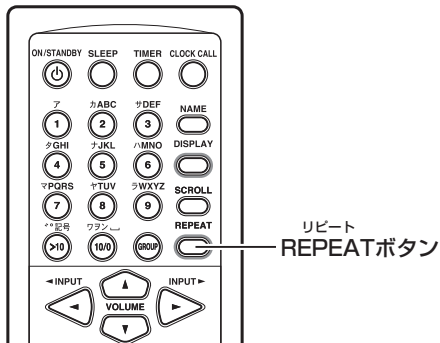
CD ▶ボタンを押す

ランダム再生が始まります。

再生中の曲番

解除するには

☞「通常再生に戻す」31ページ
- ディスクを取り出しても解除されます。

リピート/1TR(ワントラック)リピート再生（リモコンのみ）

- リモコンで設定します。
- リピート再生はCDをくり返し再生します。
- 1TR(ワントラック)リピート再生はCDの中の1曲をくり返し再生します。
- リピート再生は、メモリー再生やランダム再生と組み合わせて使うこともできます。

リモコンのREPEAT(リピート)ボタンを(くり返し)押して「REPEAT(リピート)」または「REPEAT(リピート) 1」を表示させる

「REPEAT(リピート)」または
「REPEAT 1」が点灯

REPEAT 1

リピートまたは1TRリピート再生モードになります。

リピート、1TR リピート再生を取り消す

リモコンの REPEAT ボタンを(くり返し) 押して 「REPEAT」、「REPEAT 1」 のいずれも表示されていない状態にする

通常再生にもどす（リモコンのみ）

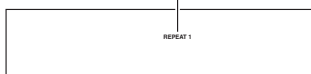
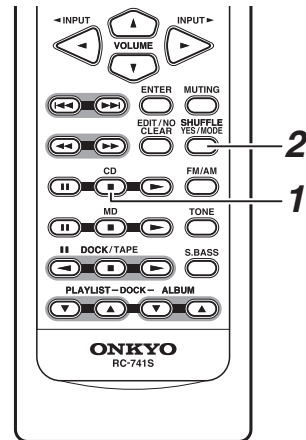
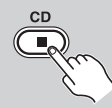
メモリー、ランダム再生を取り消す

1 **CD ■(ストップ)ボタンを押して再生を止める**

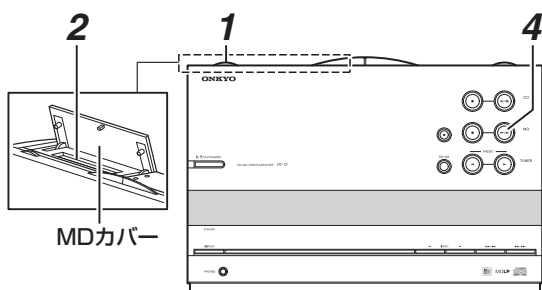
2 **YES(イエス)/MODE(モード)ボタンを（くり返し）押して「MEM(メモリー)」も「RDM(ランダム)」も点灯していない状態にする**

SHUFFLE
YES/MODE

押すたびに表示が

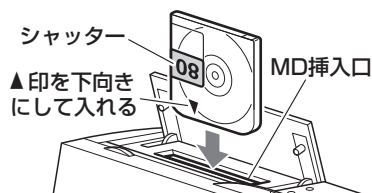
→ MEM → RDM → 消灯 ─┐ (最初に戻る)

と切り換わります。

MDを聞く

基本の操作

1 MD OPEN/EJECT（オープン/イジェクト）ボタンを押す

MDカバーが開きます。
スタンバイ状態のときは電源が入ります。

2 MD挿入口にMDを入れる

再生専用か録音済みのMDを用意してください。シャッターを左側にし、▲印をMD挿入口に向けて差し込みます。

ご注意

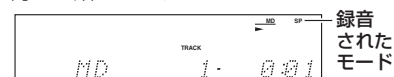
- 電源が入っていないとMDを入れることはできません。
- **MDの向きを間違えて入れると、MDが取り出せなくなりますので、十分注意してください。**

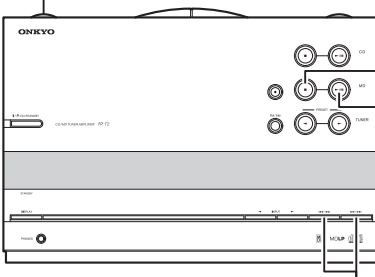
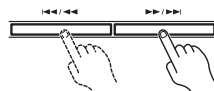
3 MDを軽く押す

MDが本体に引き込まれます。

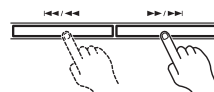
- MDカバーは自動的には閉まりません。手で閉めてください。
- MDを入れると、MD ■（ストップ）ボタンのインジケーターが点滅し、MD読み込み後点灯します。

4 MD ►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押す

再生が始まります。

グループのあるMDのとき

本体で操作する

聞きたい曲を選ぶ

再生中に⏮/◀◀ボタンを押すと再生中の曲の頭に戻り、さらに押すと1曲ずつ前に戻ります。停止中は⏮/◀◀ボタンを押すと1曲ずつ前の曲に戻ります。▶▶/⏭ボタンを押すと1曲ずつ次の曲に進みます。

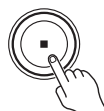
早戻し/早送りをする

再生中、一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離なします。⏮/◀◀ボタンを押し続けると早戻し、▶▶/⏭ボタンを押し続けると早送りになります。

一時停止する

MD ►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押します。

- 表示部に❚❚（ポーズ）表示が点灯します。
- もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

MD ■（ストップ）ボタンを押します。

MDを取り出す

MD OPEN/EJECT（オープン/イジェクト）ボタンを押すとMDカバーが開きMDが出てきます。

- MDを取り出した後、MDカバーを手で閉めてください。

リモコンで操作する

聞きたい曲を選ぶ
再生中/一時停止中に⏮ボタンを押すと聞いている曲の頭に戻り、さらに押すと1つずつ前の曲に戻ります。
⏭ボタンを押すと1つずつ次の曲に進みます。

早戻し/早送りをする
再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。◀◀ボタンを押し続けると早戻し、▶▶ボタンを押し続けると早送りになります。

再生を一時停止する
もう一度押すと、一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

表示部の情報を切り換える
DISPLAY（デスプレイ）ボタンを押します。

ディスク名、曲名などをスクロール表示する

数字ボタン
選曲して再生する
10/0ボタン ：10または0を選びます。
>10ボタン ：2桁以上の曲番を選びます。ディスクやグループに含まれる曲数に応じて入力する桁数が変わります。

例）

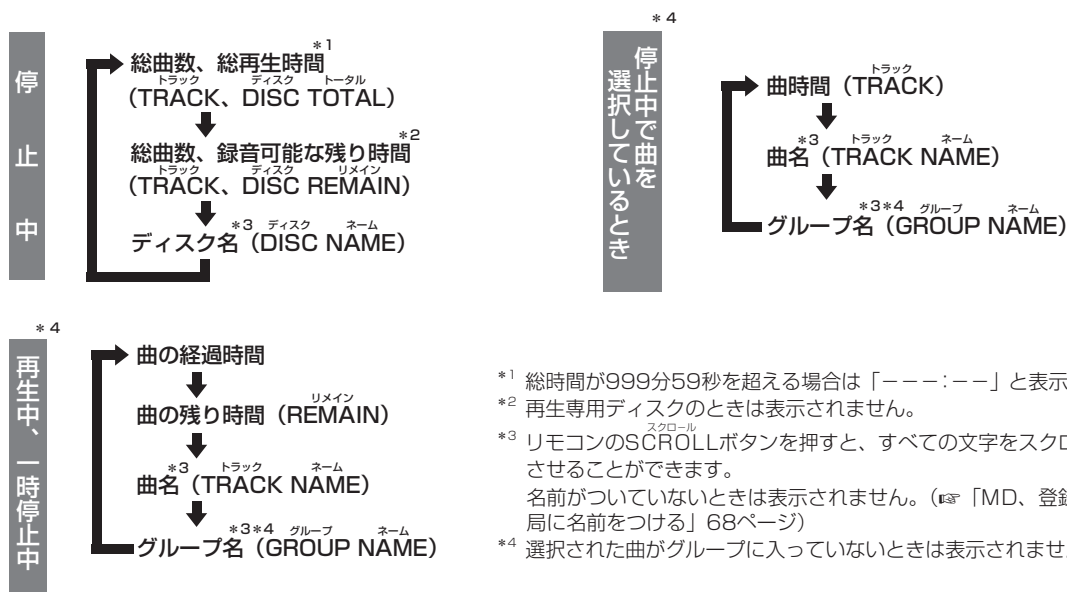
曲番	押すボタン
13	>10 1 3

グループの選びかたは、36ページをご覧ください。

再生する
MDがセットされていれば、スタンバイ状態でも自動的に電源が入り、再生が始まります。

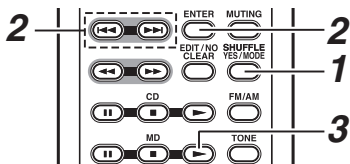
表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンのDISPLAY（ディスプレイ）ボタンをくり返し押すと、表示部の情報を切り換えることができます。
何も録音されていないMDのときは、「MD Blank Disc（ブランク ディスク）」と表示されます。

*1 総時間が999分59秒を超える場合は「－－－:－－」と表示されます。
*2 再生専用ディスクのときは表示されません。
*3 リモコンのSCROLL（スクロール）ボタンを押すと、すべての文字をスクロール表示させることができます。
名前がついていないときは表示されません。（☞「MD、登録した放送局に名前をつける」68ページ）
*4 選択された曲がグループに入っていないときは表示されません。

MDのいろいろな再生

基本の再生以外に、いろいろな再生方法があります。

メモリー再生（リモコンのみ）

- 曲を指定し（25曲まで）、その順序で再生します。
- グループ内の曲を選ぶには、36ページをご覧ください。

1

SHUFFLE YES/MODE

入力がMDで停止中

YES/MODEボタンを（くり返し）押して「MEM」を表示させる

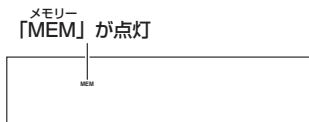
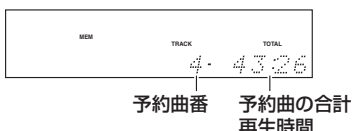
「MEM」が点灯

2

ENTER

⏮/⏭ボタンを押して曲を選び、ENTERボタンを押して確定する

次の曲を選ぶときはこの手順をくり返します。

予約曲番　予約曲の合計再生時間

数字ボタンで曲を選ぶこともできます。（☞33ページ）

間違って予約した曲を取り消すには

EDIT/NO/CLEARボタンを（くり返し）押すと、最後に入力したものから順に取り消されていきます。

！ヒント

予約時間の合計が999分59秒を超えると合計時間表示が「---:--」となりますが、再生に支障はありません。
26曲以上は予約できません。「Memory Full」と表示されます。

3

MD ▶ボタンを押す

メモリー再生が始まります。

再生中の曲番

再生が終わっても予約内容は消えません。

予約した曲の中で選曲する

再生中に⏮/⏭ボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

予約した内容を確認するには

停止中に◀◀/▶▶ボタンを押して予約内容を確認できます。

予約した曲を取り消すには

- メモリー再生モードの停止中に、EDIT/NO/CLEARボタンを(くり返し)押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
- 一度再生モードを切り換えると、予約した内容は消えます。

解除するには

☞「通常再生に戻す」35ページ
- ディスクを取り出しても解除されます。

ランダム再生（リモコンのみ）

- 曲順をランダムに並べかえて再生します。

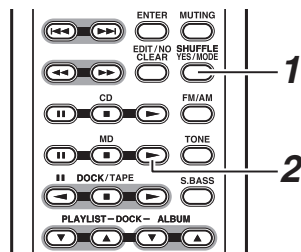
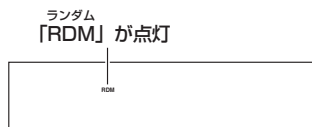
1

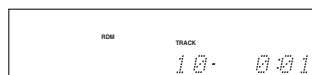
SHUFFLE YES/MODE

入力がMDで停止中

YES/MODEボタンを（くり返し）押して「RDM」を表示させる

「RDM」が点灯

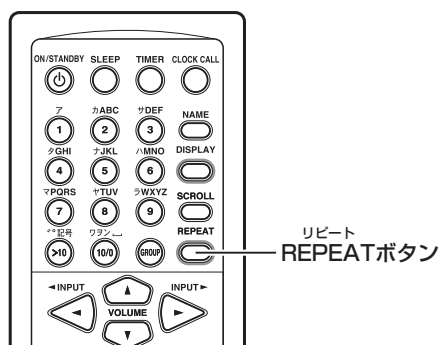
2

MD ▶ボタンを押す

ランダム再生が始まります。

再生中の曲番

解除するには

☞「通常再生に戻す」35ページ
- ディスクを取り出しても解除されます。

リピート/1TR（ワントラック）リピート再生 （リモコンのみ）

- リモコンで設定します。
- リピート再生はMDをくり返し再生します。
- 1TR（ワントラック）リピート再生はMDの中の1曲をくり返し再生します。
- リピート再生はMD1グループ再生（☞37ページ）やメモリー再生、ランダム再生と組み合わせて使うこともできます。

リモコンのREPEAT（リピート）ボタンを（くり返し)押して「REPEAT（リピート）」または「REPEAT（リピート） 1」を表示させる

リピートまたは1TRリピート再生モードになります。

リピート、1TRリピート再生を取り消す

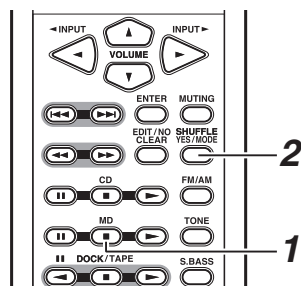
リモコンの REPEAT ボタンを(くり返し）押して「REPEAT」、「REPEAT 1」のいずれも表示されていない状態にする

通常再生にもどす （リモコンのみ）

メモリー、ランダム再生を取り消す

1

MD ■（ストップ）ボタンを押して再生を止める

2

YES（イエス）/MODE（モード）ボタンを（くり返し）押して「MEM（メモリー）」も「RDM（ランダム）」も点灯していない状態にする

押すたびに表示が

→ MEM → RDM → 消灯 ─┐（先頭に戻る）

と切り換わります。

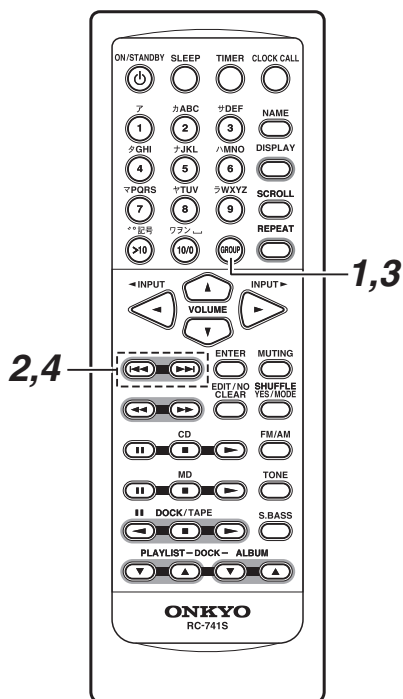
MDグループ機能

1枚のMDに入っている曲を好みのグループに分けることができます。MDLPを使用して、多くの曲が入っているディスクで使用すると便利です。
- グループにできるのは連続した曲です。（例：1曲目～15曲目）
- あとからグループに曲を追加することができます。
- 1つの曲を複数のグループに入れることはできません。
- 本機でグループを作成したMDを、グループ機能が備わっていない機器で再生するとディスクネームが正しく表示されません。
- グループを作成したMDをグループ機能が備わっていない機器で編集しないでください。

曲番について

グループの中で1曲目から順番につきます。グループに入っていない曲は総曲数の表示になります。

グループの中の曲を選ぶ（リモコンのみ）

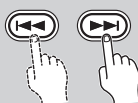
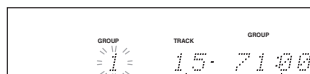
1

入力がMDで停止中

GROUP（グループ）ボタンを押す

グループ番号が点滅します。

2

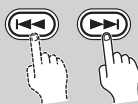
⏮/⏭ボタンでグループを選ぶ

GROUP TRACK GROUP
1 15 71 00

グループに含まれる曲数　グループ総再生時間

3

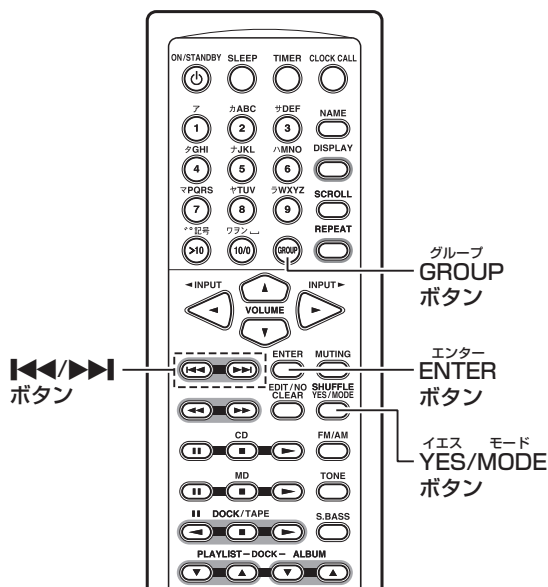
GROUPボタンを押す

グループ番号の点滅が止まります。

4

⏮/⏭ボタンでグループの中の曲を選ぶ

MDグループ機能

MDグループを再生する

ディスクにグループを作成しておく必要があります。
(☞38ページ)

MDグループ再生

選択したグループから最後まで再生します。

1 入力がMDで停止中

GROUPボタンを押す

2 ◀◀/▶▶ボタンを押して再生したいグループを選ぶ

グループに含まれる曲数　グループ総再生時間

！ヒント

数字ボタンで選ぶこともできます。

3 ENTERボタンを押す

再生が始まります。

MD1グループ再生

選択したグループのみ再生します。

1 入力がMDで停止中

GROUPボタンを押す

2 ◀◀/▶▶ボタンを押してグループを選ぶ

グループに含まれる曲数　グループ総再生時間

3 YES/MODEボタンを押して「1GR」を表示させる

点灯

4 ENTERボタンを押す

再生が始まります。

- 再生が終わると、MD1グループ再生モードは解除されます。

MDグループスキップ

再生中、グループごとにスキップすることができます。

1 入力がMDで再生中

GROUPボタンを押す

録音されたモード

2 ◀◀/▶▶ボタンを押してグループを選ぶ

選んだグループの最初のトラックから再生が始まります。

ご注意

「1GR」、「MEM」、「RDM」表示が点灯しているときは、操作できません。

MDグループを作成/解除する

1GR（ワングループ）、MEM（メモリー）、RDM（ランダム）表示が点灯していると編集できません。通常再生モードにしてください。

グループセット

グループに入っていない複数の曲を、まとめて新規のグループに入れます。

1

入力がMDで停止中

|◀◀/▶▶|ボタンを押してグループに入れる最初の曲を選ぶ

2

EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押した後、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「○○Tr（トラック） G.（グループ） Set?（セット）」を表示させる

3

ENTER（エンター）ボタンを押す

4

|◀◀/▶▶|ボタンを押してグループに入れる最後の曲を選ぶ

！ヒント

連続した曲（Tr）のみ選択できます。
離れた曲（Tr）は、Move（ムーブ）（☞45ページ）やグループイン（☞38ページ）機能を使用してください。

5

ENTERボタンを押す

「Complete（コンプリート）」（完了）と表示された後、グループが作成されます。

グループイン

グループに入っていない曲を、すでにあるグループに入れます。

1

入力がMDで停止中

|◀◀/▶▶|ボタンを押してグループに入れる曲を選ぶ

2

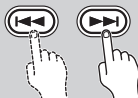
EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「○○Tr（トラック） G.（グループ） In?（イン）」を表示させる

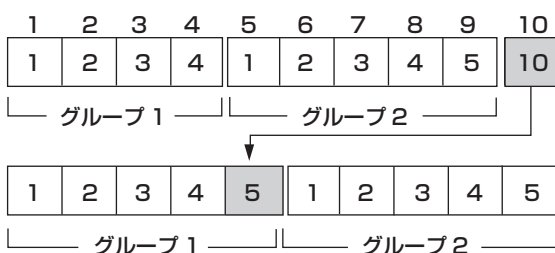
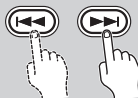
3

ENTERボタンを押す

4

|◀◀/▶▶|ボタンを押してどのグループに入れるかを選ぶ

5

ENTERボタンを押す

「Complete」（完了）と表示された後、選んだグループの最後に入ります。

MDグループ機能

グループアウト

すでにグループに入っている曲をグループから外します。

1

入力がMDで停止中

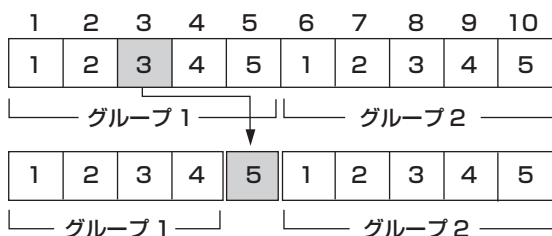
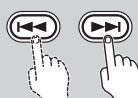
◀◀/▶▶ボタンを押してグループから外す曲を選ぶ

2

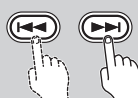
EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、◀◀/▶▶ボタンを押して「○○Tr G. Out?」を表示させる

3

ENTERボタンを押す

「Complete」（完了）と表示された後、選んだ曲がグループから外れます。

選択グループの解除

選んだグループを解除します。

入力がMDで停止中

GROUPボタンを押す

2

◀◀/▶▶ボタンを押して解除するグループを選ぶ

EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、◀◀/▶▶ボタンを押して「Release?」を表示させる

ENTERボタンを押す

「Complete」（完了）と表示された後、選んだグループが解除されます。

MDグループを編集/消去する

グループを移動してグループを入れ換える、2つのグループをまとめて1つにする、グループ内の曲を消去する、の3つの基本機能があります。

編集/消去機能の紹介

グループを消去する－G.Erase
指定したグループに含まれる曲をすべて消去します。

グループを移動する－G.Move
グループを移動する機能です。

グループをつなぐ－G.Combine
前のグループとつないで1つのグループにする機能です。

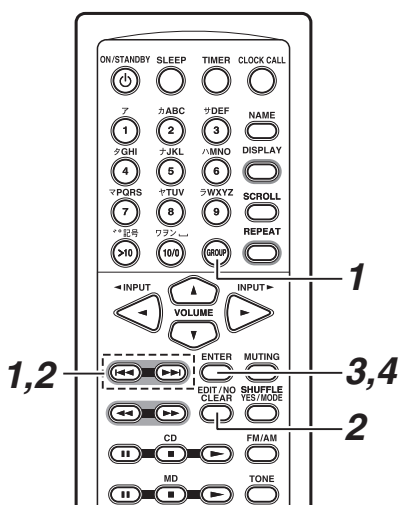
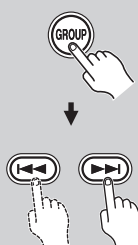
編集の組み合わせ

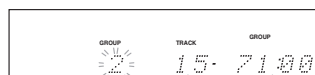
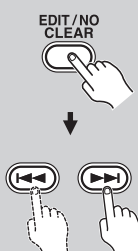
離れた2つのグループをつなぐ
(G.Move＋G.Combine)
G.Combineは選んだグループと直前のグループをつなぐ機能です。離れた2つのグループをつなぐときは、G.Move機能でグループを移動したあと、G.Combine機能を使います。

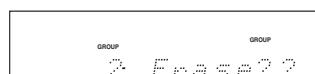
編集/消去についてのご注意

- 編集/消去の情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどにMDの目次部分（TOC）に書き込まれます。TOC表示が点灯あるいは点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。
- MEM、RDM、または1GR表示が点灯しているときは編集できません。通常の再生モードにしてください。

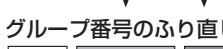
選択したグループに含まれる曲をすべて消す－G.Erase

途中で中止するときは、MD ■ボタンを押します。

入力がMDで停止中

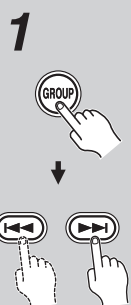
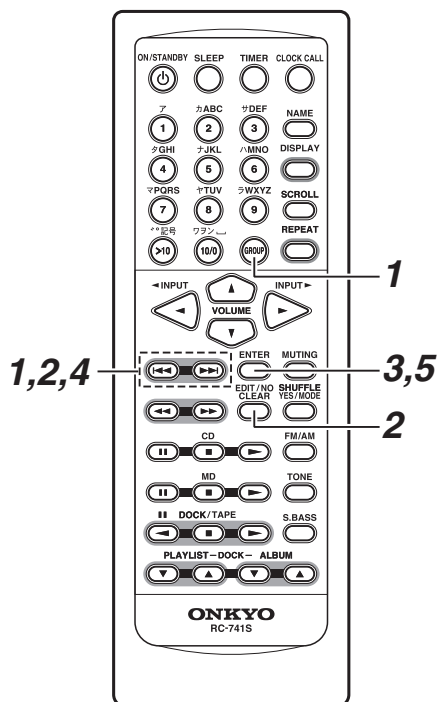
1 **GROUPボタンを押した後、⏮/⏭ボタンを押して消すグループを選ぶ**

選択したグループ番号が点滅します。

2 **EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、⏮/⏭ボタンを押して「Erase?」を表示させる**

3 **ENTERボタンを押す**

再確認のため「Erase??」が表示されます。

4 **ENTERボタンを押す**

「Complete」（完了）と表示された後、グループ内の曲がすべて消されます。
グループ番号は新たにふり直されます。

グループを移動する－ G.Move

途中で中止するときは、MD ■ボタンを押します。

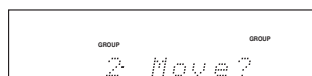
1

GROUPボタンを押した後、|◀◀/▶▶|ボタンを押して移動するグループを選ぶ

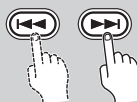
2

EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Move?」を表示させる

3

ENTER ボタンを押す

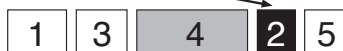
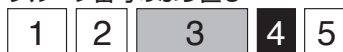
2G→1G?

移動するグループ番号と移動先のグループ番号が表示されます。

4

|◀◀/▶▶|ボタンを押して移動先のグループ番号を変える

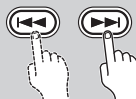
5

ENTER

ENTERボタンを押す

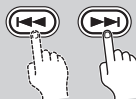
「Complete」（完了）と表示された後、指定したグループが移動します。
グループ番号は新たにふり直されます。

グループをつなぐ − G.Combine

- 前のグループにグループ名がついている場合は、そのグループ名がCombine後のグループ名になります。
- 途中で中止するときは、MD ■ボタンを押します。

1

入力がMDで停止中

GROUPボタンを押した後、⏮/⏭ボタンを押してつなぐグループを選ぶ

選んだグループが1つ前のグループとつながります。そのため、先頭のグループを選ぶことはできません。

2

EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、⏮/⏭ボタンを押して「Combine?」を表示させる

3

ENTER ボタンを押す

選んだグループ番号と、その直前のグループ番号が表示されます。

4

ENTERボタンを押す

「Complete」（完了）と表示された後、グループがつながります。
グループ番号は新たにふり直されます。

MDを編集/消去する

曲を移動して曲番を入れ換える、1つの曲を2つに分ける、2つの曲をまとめて1つにする、曲を消去する、MDの曲すべてを消去する、の5つの基本機能があります。

編集/消去機能の紹介

全曲を消去する－All Erase
MDに記録されているすべての曲とタイトルを消去します。BLANK DISCになります。

曲を消去する－Erase
1曲を選んで消去する機能です。

曲を移動する－Move
1曲を選んで移動する機能です。

曲を分ける－Divide
1曲を2つに分ける機能です。

曲をつなぐ－Combine
1曲を選び、その1つ前の曲とつないで1つにまとめる機能です。

編集/消去機能の組み合わせ

曲の一部を消去する
(Divide ＋ Erase)
消去したい部分をDivide機能で分けてから、Erase機能で消去します。

離れた2つの曲をつなぐ
(Move ＋ Combine)
Combineは選んだ曲と直前の曲をつなぐ機能です。離れた2つの曲をつなぐときは、Move機能で曲を移動したあと、Combine機能を使います。

曲をつなぐ－ Combine についてのご注意

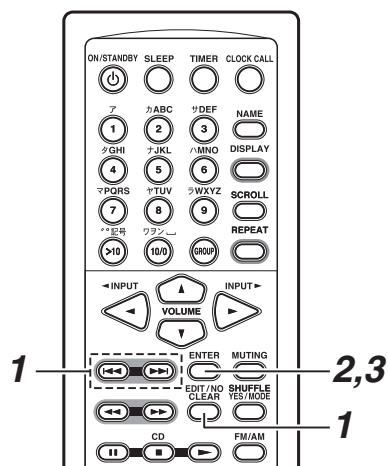
Combineは同じ録音モードで録音された曲のみつなぐことができます。

例：Monoモードで録音した曲とLP2モードで録音した曲をつなぐことはできません。
デジタル録音した曲とアナログ録音した曲をつなぐことはできません。

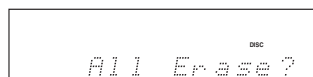
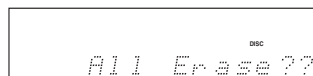
編集／消去についてのご注意

- 編集/消去の情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどにMDの目次部分（TOC）に書き込まれます。TOC表示が点灯あるいは点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。
- MEM、RDM、または1GR表示が点灯しているときは編集できません。通常の再生モードにしてください。
- グループ作成されたMDを編集すると、グループ情報が変わることがあります。

全曲を消去する－ All Erase

途中で中止するときは、MD ■ボタンを押します。

入力がMDで停止中

1 **EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、◀◀/▶▶ボタンを押して「All Erase?」（すべての曲を消しますか?）を表示させる**

EDIT/NO CLEAR

DISC
All Erase?

2 **ENTERボタンを押す**

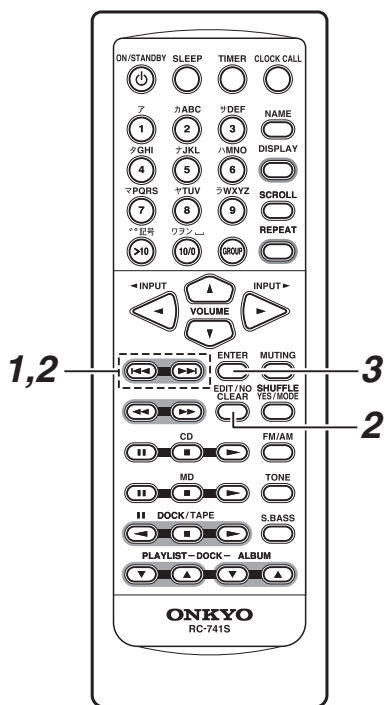
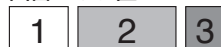
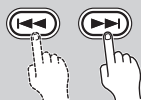
再確認のため、「All Erase??」が表示されます。

3 **ENTERボタンを押す**

「Complete」（完了）と表示された後、「MD Blank Disc」と表示され、全曲が消去されます。

1曲を選んで消す－Erase（イレーズ）

途中で中止するときは、MD ■（ストップ）ボタンを押します。

3
ENTER（エンター）ボタンを押す

「Complete（コンプリート）」（完了）と表示された後、選んだ1曲が消去されます。
曲番は新たにふり直されます。

入力がMDで停止中/一時停止中

1
⏮/⏭ボタンを押して消す曲を選ぶ

2
EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押した後、⏮/⏭ボタンを押して「Erase?（イレーズ）」を表示させる

MDを編集/消去する

曲を移動する－ Move

途中で中止するときは、MD ■ボタンを押します。

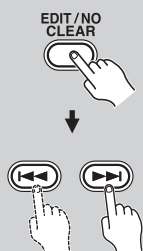
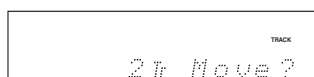
1

入力がMDで停止中/一時停止中

◀◀/▶▶ボタンを押して移動する曲を選ぶ

2

EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、◀◀/▶▶ボタンを押して「Move?」を表示させる

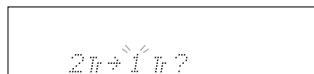
3

ENTERボタンを押す

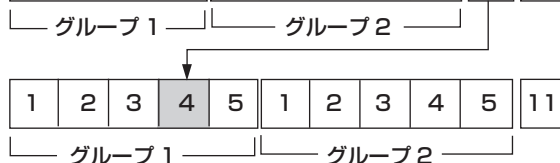
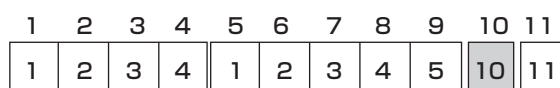
移動する曲番と移動先の曲番が表示されます。

4

◀◀/▶▶ボタンを押して移動先の曲番を選ぶ

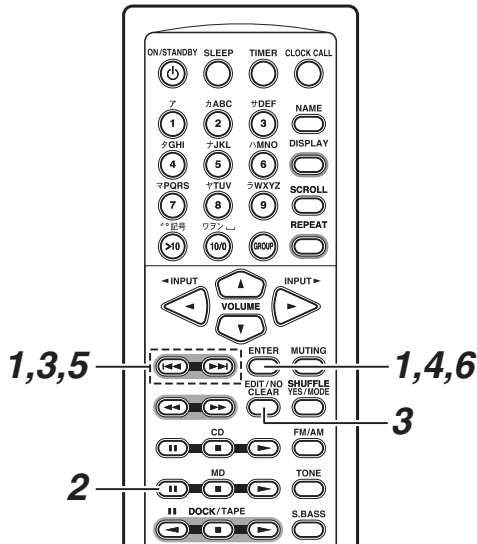
5

ENTERボタンを押す

「Complete」（完了）と表示された後、選んだ曲が移動します。
曲番は新たにふり直されます。
- グループに入っている曲はグループ内でしか移動できません。他のグループに移動したい場合は、一度グループアウト機能でグループから出したあとに、新しいグループに移動します。
- グループに入っていない曲はグループの中に移動することができます。
- 曲を移動すると、曲順が入れ換わります。

グループに入っていない10Trを4Trに移動した場合

10Trがグループ1の4Trになり、元の4Trは5Trに変わります。

曲を分ける－ Divide

- 曲名がついているとき（☞68ページ）は、前の曲にのみ名前が残ります。
- 途中で中止するときは、MD ■ボタンを押します。

1

入力がMDで停止中/一時停止中

|◀◀/▶▶|ボタンを押した後、ENTERボタンを押して分ける曲を再生する

2

分けたいところでMD ‖ボタンを押す

一時停止になります。
◀◀/▶▶ボタンで早戻し/早送りができます。

3

EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Divide?」を表示させる

4

ENTERボタンを押す

「Rehearsal」（確認再生中）と「Position OK?」（この位置でよいですか?）が交互に表示され、曲が分かれる位置の前後4秒ずつを一時停止をはさんでくり返し再生します。

5

音楽を聞きながら|◀◀/▶▶|ボタンを押して分ける位置を微調整する

その曲内で数値－180～＋180（±約2秒）の間で調整できます。

分かれる位置が微調整で前後に移動します。

Position +11

6

ENTERボタンを押す

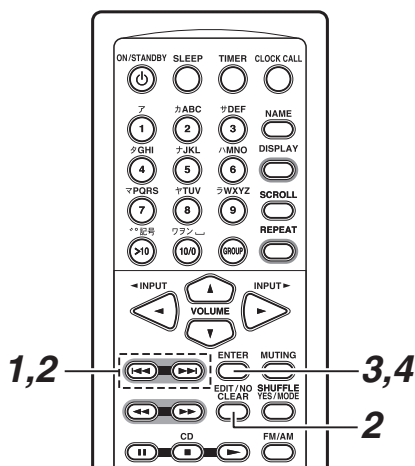
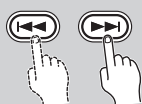
「Complete」（完了）と表示された後、曲の分かれたところで一時停止状態となります。
曲番は新たにふり直されます。

MDを編集/消去する

曲をつなぐ – Combine（コンバイン）

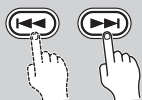
- 前後の曲どちらにも曲名がついている場合、前の曲名がCombine後の曲名になります。
- 途中で中止するときは、MD ■（ストップ）ボタンを押します。

入力がMDで停止中/再生中/一時停止中

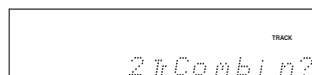
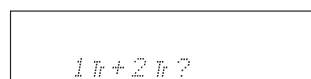
1

|◀◀/▶▶|ボタンを押してつなぐ曲を選ぶ

選んだ曲が1つ前の曲とつながります。そのため、1曲目を選ぶことはできません。

2

EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押した後、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Combin?（コンバイン）」を表示させる

3

ENTER（エンター）ボタンを押す

1Tr+2Tr?

選んだ曲番と、その直前の曲番が表示されます。

4

ENTERボタンを押す

「Complete（コンプリート）」（完了）と表示された後、曲がつながります。
曲番は新たにふり直されます。

ご注意

- 異なるグループに入っている曲どうしをつなぐことはできません。たとえば、1グループの最後の曲と2グループの最初の曲をつなぐことはできません。
- 異なる録音モードで録音した曲をつなぐことはできません。また、デジタル録音した曲とアナログ録音した曲をつなぐこともできません。
- 下表のように、1曲の時間が短いと曲をつなげないことがあります。

録音モード	曲の長さ
SP モード	12 秒以下
LP2/Mono モード	24 秒以下
LP4 モード	48 秒以下

録音する

MDの基礎知識

MDには再生専用と録音用の2種類があります。
カセットテープは巻き戻しておくと前回録音したものに上書きして録音されますが、MDの場合は以前に録音された曲の続きに録音されます。始めから録音したい場合は、すでに録音されているものを消去してから録音します。
録音したり、名前をつけたり、編集した情報はMDの目次部分（TOC＝Table(テーブル) Of(オブ) Contents(コンテンツ)）に書き込まれます。

TOC表示が点灯しているとき(録音中や名前をつけたときなど)
MDのTOCに書き込む情報が本体のメモリーに保存されている状態です。

TOC表示が点滅しているとき（録音停止時やディスクを取り出すときなど）
MDに情報を書き込んでいます。この状態のときは、電源プラグを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。停電になった場合は、TOCに書き込まれる前の記録内容は消去されます。

MDLPって？

従来のMDの音声圧縮方式ATRACの約2倍の圧縮効率を持つATRAC3を採用したMDの圧縮方式です。標準モード（SP）に対して、LP2で2倍、LP4で4倍の長時間録音ができます。

■ 録音モードと録音可能時間

録音モード ＼ ディスクの種類	80分ディスク	74分ディスク	60分ディスク
SP(ステレオ録音)	約80分	約74分	約60分
LP2(ステレオ録音)	約2時間40分	約2時間28分	約2時間
LP4(ステレオ録音)	約5時間20分	約4時間56分	約4時間
MONO（モノラル録音）	約2時間40分	約2時間28分	約2時間

- LP2、LP4モードで録音したディスクは、LP2、LP4モードに対応していない機器で再生することはできません。

グループ機能って？

1枚のMDに入っている曲を好みのグループに分けることができます。MDLPで多くの曲が入っているディスクで使用すると便利です。(☞36ページ)

録音する

録音方法の種類

デジタル録音された CD-R から MD へデジタル録音することはできません。

CDダビング ・・・・・・・ **CDからMDにワンタッチで録音する**
- デジタル入力録音…自動でデジタル入力録音します。
- MDに自動的に曲番がつきます。
- DLAリンク（自動で最適な録音レベルに調整する機能）のオン/オフが可能です。

CD高速ダビング ・・・ **上記のCDダビングを約1/4の時間で行います**
- DLAリンクは働きません。

シンクロ録音 ・・・・・・ **オンキヨー製外部機器からMDに録音する**
- レベルシンク（入力レベルの立ち上がりで自動的に曲番をつける機能）のオン/オフが可能です。
- 録音レベルはお好みに調整できます。

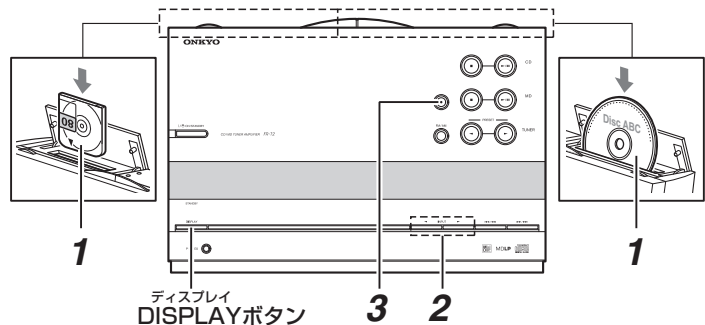
シグナル シンクロ録音 ・・・・・・・・・・ **その他の外部機器からMDに録音する**
- レベルシンク（入力レベルの立ち上がりで自動的に曲番をつける機能）のオン/オフが可能です。
- 録音レベルはお好みに調整できます。

こんな録音はどうするの？	➡	この機能や設定を使うと便利です	
アルバムCDをMDにそのまま録音したい	➡	CDダビング （CD高速ダビングもできます） ● 簡単操作ガイド「録音編」もご覧ください。	50ページ 51ページ
CDの中から好きな曲だけを録音したい	➡	好きな曲だけをダビングする メモリー再生機能と組み合わせて録音します	52ページ
今聞いている曲だけを録音したい	➡	トラック指定CDダビング ● 簡単操作ガイド「録音編」もご覧ください。	52ページ
多くのシングルCDをMDに録音したい	➡	トラック指定CDダビング ● 簡単操作ガイド「録音編」もご覧ください。	52ページ
短時間で録音をすませたい	➡	CD高速ダビング ● 簡単操作ガイド「録音編」もご覧ください。	51ページ
FM/AM放送を録音したい	➡	FM/AM放送をMDに録音する ● 簡単操作ガイド「録音編」もご覧ください。	53ページ
オンキヨー製カセットテープデッキからMDに録音したい	➡	シンクロ録音 ● 簡単操作ガイド「録音編」もご覧ください。	54ページ
その他の外部機器からMDに録音したい	➡	シグナルシンクロ録音 ● 簡単操作ガイド「録音編」もご覧ください。	55ページ
多くの曲を1枚のMDに入れたい	➡	録音モードを切り換える	56ページ
グループを作りながら録音したい	➡	MDグループ録音設定	56ページ
MDの最後の曲をフェードアウトさせたい	➡	フェードアウトダビング設定	57ページ
CDの音量レベルのままでCDダビングしたい	➡	DLAリンクを切り換え、 CDダビングをする	57ページ 50ページ
録音レベルを調整したい	➡	録音レベルを調整する	58ページ
CDからMDにアナログで録音したい	➡	アナログ入力録音に設定し、 シンクロ録音をする	58ページ 54ページ
レベルシンクを切り換えたい	➡	レベルシンクを切り換える	59ページ

CDをMDに録音する(CDダビング)

- ワンタッチデジタル録音です。
- 曲番は自動的につきます。

ご注意

CDがランダム再生モードになっているときは、CDダビングはできません。

1

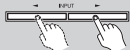
CDとMDをセットする

MDの録音可能な残り時間を確認するには

入力をMDにして、DISPLAYボタンを押してください。

! ヒント

録音モードを切り換えるには、56ページを参照してください。

2

INPUT◀/▶ボタンを押して入力を「CD」にする

3

MD ●ボタンを押す

CD-MD Dubbin

「x4 Dubbing?」が2秒間表示されますが、そのままにします。

「CD-MD Dubbing DLA Link Off」または「CD-MD Dubbing DLA Link On」がスクロールします。

<DLAリンク>

DLA Link On時は、CDはPeak Search(最大レベルの検出)を行い、MDは最適な録音レベルを設定します。(☞57ページ)

<録音開始>

その後、録音を開始します。録音にはCDの記録時間と同じだけの時間がかかります。

<録音停止>

CDの再生が終わるか、MDの最後まで録音すると、録音が止まります。
録音停止後、TOC表示が点滅し、録音した情報を書き込みます。

! ヒント

Peak Searchは最長120秒かかることがあります。

CDダビング中のご注意

►/❚❚、▲などのボタンは働きません。

CDダビングを中断するには

CD■ボタンまたはMD■ボタンを押します。停止後、TOC表示が点滅し、それまで録音した情報を書き込みます。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体のMD►/❚❚ボタンまたはリモコンのMD►ボタンを押します。録音を始めたところから再生が始まります。

録音する

CDをMDに録音する(CD高速ダビング)

- デジタル録音を通常の約1/4の時間で行います。
- 曲番は自動的につきます。
- DLAリンクは働きません。
- CD高速ダビング中、音声は聞こえません。
- CDがメモリー再生、ランダム再生モードになっているときは、CD高速ダビングはできません。リピート再生が設定されているときは、リピート再生は解除されます。
- CD高速ダビングは、ディスクの汚れ等の影響をうけやすくなります。音飛び、ノイズ等が発生する場合は、通常のCDダビングで録音してください。

1

DISPLAY

CDとMDをセットする

MDの録音可能な残り時間を確認するには

入力をMDにして、DISPLAY(ディスプレイ)ボタンを押してください。

！ヒント

録音モードを切り換えるには、56 ページを参照してください。

2

INPUT

INPUT(インプット)◀/▶ボタンを押して入力を「CD」にする

TRACK DISC TOTAL
CD 13 57 00

3

MD ●(レック)ボタンを2回押す

MD ●(レック)ボタンは続けて2秒以内に押してください。

CD-MDx4 Dubbing がスクロールします。

<録音開始>
その後、録音を開始します。録音にはCDの記録時間の約1/4の時間がかかります。

<録音停止>
CDの再生が終わるか、MDの最後まで録音すると、録音が止まります。
録音停止後、TOC(トック)表示が点滅し、録音した情報を書き込みます。

CD高速ダビング中のご注意

▶/II(プレイ/ポーズ)、▲(イジェクト)などのボタンは働きません。

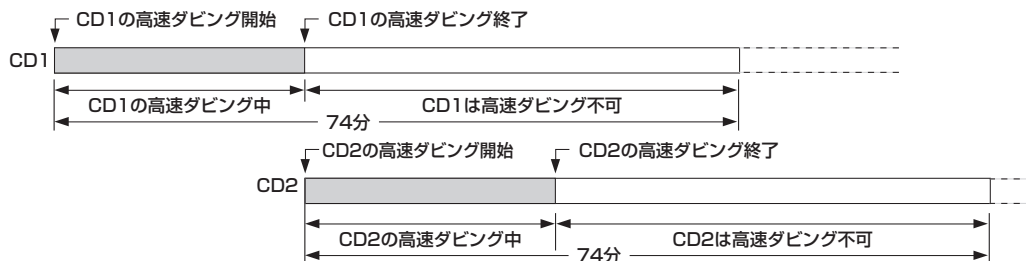
CD高速ダビングを中断するには

CD■(ストップ)ボタンまたはMD■(ストップ)ボタンを押します。停止後、TOC表示が点滅し、それまで録音した情報を書き込みます。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体の MD▶/II ボタンまたはリモコンの MD▶(プレイ) ボタンを押します。録音を始めたところから再生が始まります。

CD高速ダビングの制限について

CD高速ダビングを行ったCD（CD-R、CD-RWにコピーしたディスクも含む）は、その記録時間に関係なく著作権保護のため録音開始時より74分間はCD高速ダビングをすることができません。CD高速ダビングをしようとすると「Time(タイム) Protect(プロテクト)」と表示され、その後そのCDがCD高速ダビングができるまでの待ち時間が表示されます。（例：「Wait(ウエイト) 42 min」）他のCDを使用する場合は、続けてCD高速ダビングすることができますが、74分以内に21枚以上のCDを続けてCD高速ダビングすることはできません。

CDをMDに録音する(いろいろなCDダビング)

好きな曲だけをダビングする

❶CDとMDをセットし、入力をCDにしたあとメモリー再生の設定をする

30ページのメモリー再生の設定を行います。
(再生はしないでください。再生すると、トラック指定CDダビングになります。)

❷MD ●(レック)ボタンを押す

録音が始まります。(ピークサーチを行うDLAリンク機能を「オン」にすることもできます。☞57ページ)

ご注意

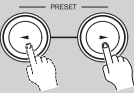
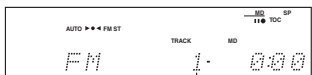
- CDがメモリー再生、ランダム再生になっているときは、CD高速ダビングはできません。
- 1TR(ワントラック)リピート再生モードで録音すると、曲番がつかないことがあります。

今聞いている曲のみを頭から録音する(トラック指定CDダビング)

❶CDとMDをセットし、CD ►/II(プレイ/ポーズ)ボタンを押してCDの再生を始める

❷CD再生中に録音したい曲があったら、MD ●(レック)ボタンを押す

その曲の頭から録音が始まります。(ピークサーチを行うDLAリンク機能を「オン」にすることもできます。☞57ページ)
録音にはCDの記録時間と同じだけの時間がかかります。
その曲のダビングが終わるとMDは停止します。CDはそのまま再生を続けます。

ご注意

- トラック指定のCD高速ダビングはできません。
- CDがランダム再生モードになっているときは、CDダビングはできません。

録音する

FM/AM放送をMDに録音する

長時間のラジオ番組などを録音するときは、録音モード（☞56ページ）を切り換えて使うと便利です。

1 MDをセットする

2 FM/AMボタンを押して入力を「FM」または「AM」にする

3 PRESET（プリセット）◀/▶ボタンを押して録音したい放送局を選ぶ

FM 84.7MHz 3

• ◀◀/◀◀、▶▶/▶▶▶ボタンで周波数を合わせて放送局を選ぶこともできます。

! ヒント

録音モードを切り換えるには、56ページを参照してください。

4 MD ●（レック）ボタンを押して録音待機状態にする

MDグループ録音設定が「オン」になっていると、録音開始時に新しいグループを作成して録音するため、1曲目と表示されます。

録音レベルを調節するときは

☞58ページ

レベルシンクのオン、オフを切り換えるには

☞「曲番をつける－レベルシンク」（59ページ）

5 MD ►/‖（プレイ/ポーズ）ボタンを押して録音を始める

録音中の曲番

MDの最後まで録音すると、自動的に停止します。

途中で止めるときは、MD ■（ストップ）ボタンを押します。

録音停止後、TOC（トック）表示が点滅し、録音した情報を書き込みます。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体のMD►/‖ボタンまたはリモコンのMD►（プレイ）ボタンを押します。録音を始めたところから再生が始まります。

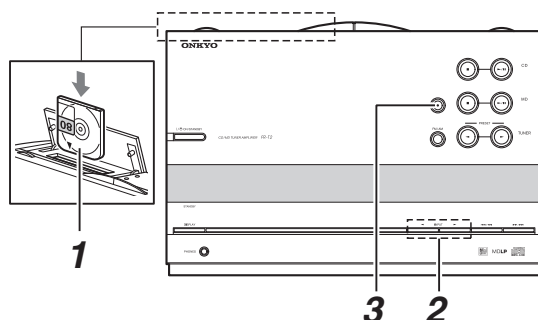
一時停止するには

MDの►/‖ボタンを押します。もう一度押すと録音を再開します。曲番は次の番号に変わります。

曲番を好きなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところでMD ●（レック）ボタンを押します。ただし、ボタンを押す間隔が短い（約4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

録音する

オンキヨー製カセットテープデッキからMDに録音する(シンクロ録音)

1 接続したカセットテープデッキのテープとMDをセットする

!ヒント 録音モードを切り換えるには、56ページを参照してください。

2 INPUT◀/▶ボタンを押して入力を「TAPE」にする

ご注意

- 表示名称は前もって「TAPE」にしておいてください。(☞67ページ)
- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの接続が必要です。(☞18ページ)

3 MD ●ボタンを押して録音待機状態にする

MDグループ録音設定が「オン」になっていると、録音開始時に新しいグループを作成して録音するため、1曲目と表示されます。

4 接続したカセットテープデッキのテープを再生する

(カセットテープデッキ側)

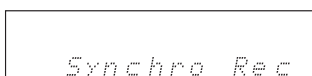
録音が始まります。

シンクロ録音を中断するには

再生しているソース(接続しているカセットテープデッキ)を停止すると、MDは録音待機状態になります。録音を止めるときは、MD ■ ボタンを押します。

録音停止後、TOC表示が点滅し、録音した情報を書き込みます。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体のMD▶/❚❚ボタンまたはリモコンのMD▶ボタンを押します。録音を始めたところから再生が始まります。

一時停止して選曲する

再生しているソースを一時停止または停止すると、MDも録音待機状態となります。選曲して再度再生すると、MDの録音が始まります。

ただし、MD ■ボタンを押すとMDは停止しますが、カセットテープデッキは再生を続けます。

曲番を好きなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところでMD ●ボタンを押します。ただし、ボタンを押す間隔が短い(約4秒以下)と、曲番がつかないことがあります。

!ヒント

別売のオンキヨー製カセットテープデッキを本機に接続すると、以下のような操作ができます。

CDからカセットテープへのシンクロ録音

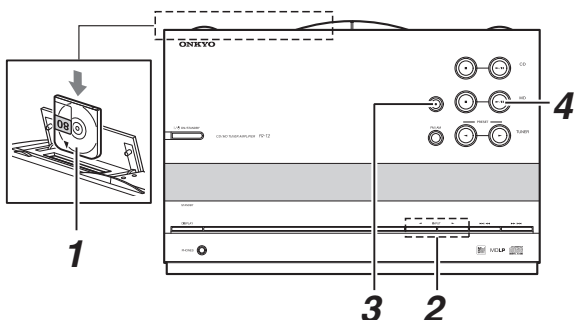
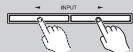
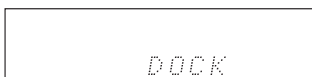
MDからカセットテープへのシンクロ録音

- CDやMDからカセットテープへのシンクロ録音については、カセットテープデッキ側の録音レベルを調節する必要があります。詳しくはカセットテープデッキの取扱説明書をご覧ください。

録音する

外部機器からMDに録音する

本機と接続した外部機器から MD に録音します。

1	MDをセットする
2	INPUT◀/▶ボタンを押して入力を「DOCK」にする
3	MD ●ボタンを押して録音待機状態にする
4	MD ►/❚❚ボタンを押して録音を始める
5	外部機器の再生を始める

2 INPUT◀/▶ボタンを押して入力を「DOCK」にする

!ヒント

名称をTAPEに変えると、「TAPE」と表示されます。(☞67ページ)
録音モードを切り換えるには、56ページを参照してください。

3 MD ●ボタンを押して録音待機状態にする

4 MD ►/❚❚ボタンを押して録音を始める

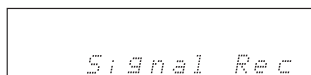
5 外部機器の再生を始める

MDの最後まで録音すると、自動的に停止します。
途中で止めるときは、MD ■ボタンを押します。

シグナルシンクロ録音をする

シグナルシンクロ録音とは、外部の入力信号が入ってきた時点で自動的にMD録音を開始する機能です。

❶**左項の手順*1*～*3*を行う**
通常の録音待機状態になっています。

❷**もう一度MD ●ボタンを押す**

Signal Rec

「Signal Rec」が表示されたあと、シグナルシンクロ録音待機状態となり、「Signal Wait」が点滅します。

❸**外部機器の再生を始める**
外部機器からの信号が入ってくると、自動的にMDの録音が始まります。

録音レベルを調節するときは

☞58ページ。

レベルシンクを切り換えるには

☞59ページ。

曲番を好きなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところでMD ●ボタンを押します。ただし、ボタンを押す間隔が短い（4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

録音を一時停止するときは

MD ►/❚❚ボタンを押します。録音を再開するときは、同じボタンをもう一度押します。

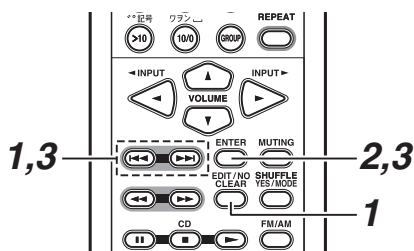
録音結果を確かめるには

録音終了後、本体のMD ►/❚❚ボタンまたはリモコンのMD►ボタンを押します。録音を始めたところから再生が始まります。

録音の設定

録音モードを切り換える

録音を開始する前に設定します。

1

入力がMDで停止中

EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、⏮/⏭ボタンを押して「Rec Mode?」を表示させる

Rec Mode?

2

ENTER

ENTERボタンを押す

Stereo(SP)

現在の設定が表示されます。

3

⏮/⏭ボタンを押して録音モードを選び、ENTERボタンを押す

録音モードは

→SP↔LP2↔LP4↔Mono←

と切り換わります。
ENTERボタンを押すと、「Complete」(完了）と表示された後、録音モードが切り換わります。

！ヒント 録音モードによって録音できる時間が異なります。1曲ずつ異なる設定もできます。

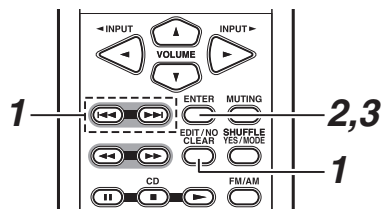
- SP：通常のステレオ録音モードです。ディスクに記載されている時間分のステレオ録音ができます。
- LP2：通常のステレオ録音を1/2に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の2倍になります。
- LP4：通常のステレオ録音を1/4に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の4倍になります。
- Mono：モノラル録音モードです。録音可能時間は「SP」の2倍になります。

ご注意

- 「LP2」、「LP4」の各モードで録音したディスクは、LP2、LP4モード搭載機器以外では再生できません。
- 音質を重視される場合は、「SP」モードで録音することをおすすめします。

MDグループ録音設定

録音を開始する前に設定します。
録音時、複数の曲をひとまとまりのグループにして録音することができます。（トラック指定CDダビング時は1曲ずつダビングするため、グループにはなりません。）

1

入力がMDで停止中

EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、⏮/⏭ボタンを押して「Group Rec?」を表示させる

Group Rec?

2

ENTERボタンを押す

Off → On?

現在の設定が左側に表示されます。この場合は「Off→On ？」でグループ録音モードを「オン」にしますか？の意味です。

- On：グループ録音モードが働きます。複数の曲をひとまとまりにして録音します。
- Off：グループ録音モードは働きません。

3

ENTERボタンを押して確定する

オンになったときは「Gr. Rec On」が、オフになったときは「Gr. Rec Off」が表示されます。

- この設定を途中でやめたいときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。
- この設定でCDダビングや録音をすると、1つのグループにして録音します。シンクロ録音やシグナルシンクロ録音では、録音を開始してからMD ■ボタンを押すまでを1つのグループにして録音します。

！ヒント

録音中にGROUPボタンを押すと、現在のグループ録音設定が表示されます。

MDグループ機能については、36ページをご覧ください。

フェードアウトダビング設定

録音を開始する前に設定します。

この機能を「On」にして、CDダビング、トラック指定CDダビングをすると、ディスクがいっぱいになって最後まで録音されない曲をディスクの最後でフェードアウト（音量を徐々に小さくする）して録音します。

入力がMDで停止中

1 EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Fade Dub?」を表示させる

Fade Dub?

2 ENTERボタンを押す

Off → On?

現在の設定が左側に表示されます。この場合は「Off→On ?」でフェードアウトモードを「オン」にしますか？の意味です。

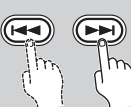
3 ENTERボタンを押して確定する

オンになったときは「Fade Dub On」が、オフになったときは「Fade Dub Off」が表示されます。

- この設定を途中でやめたいときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。
- 「On」の設定でCDダビング、トラック指定CDダビングをすると、フェードアウトダビングになります。

！ヒント

CDダビング中にMD●ボタンを押すと、現在のフェードアウトダビング設定が表示されます。

ご注意

上記の設定にかかわらず、CD高速ダビング時はフェードアウトダビングできません。

DLAリンク設定

DLAリンクとは、CDダビング時に自動的に録音レベルを調整する機能です。クラシックなど小さな音が多く含まれている楽曲は、再生するときに音量を調整しなければならないことがあります。再生するときに同じボリューム位置でお楽しみいただけるよう、CDダビングをする前に、高速でピークサーチを行い、録音レベルを調整します。

CDの音量レベルそのままでCDダビングをしたい場合は、DLAリンク設定を「オフ」にしてからCDダビングをします。「オフ」にするとCDと同じレベルで録音されます。

入力がCDで停止中

1 EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「DLA Link?」を表示させる

DLA Link?

2 ENTERボタンを押す

Off → On?

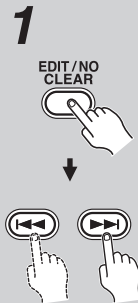
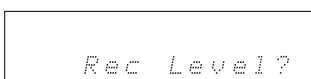
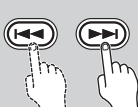
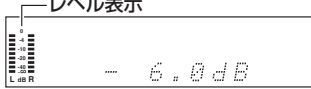
現在の設定が左側に表示されます。この場合は「Off→On ?」でDLAリンクを「オン」にしますか？の意味です。

3 ENTERボタンを押して確定する

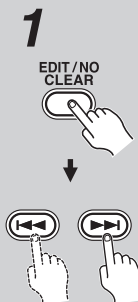
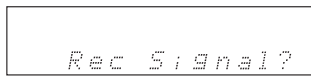
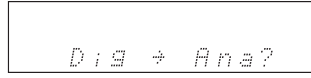
オンになったときは「DLA Link On」が、オフになったときは「DLA Link Off」が表示されます。

- この設定を途中でやめたいときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。
- 「On」の設定でCDダビング、トラック指定CDダビングをすると、DLAリンクが働きます。

ご注意

上記の設定にかかわらず、CD高速ダビング時はDLAリンクは働きません。

録音の設定

録音レベルを調整する

録音レベルが適切でないときに録音レベルを調整します。
シンクロ録音、シグナルシンクロ録音時に調整できます。
CDは録音レベルを調整できません。

録音するソースを再生中、MD ●ボタンを押して録音待機状態にし、以下の操作をします。
録音レベルの調整は、チューナー(FM/AM)、DOCK(TAPE)でそれぞれ別々に設定することができます。

- ここで調整したレベルは記憶され、次回録音するときも同じレベルで録音されます。

1

入力がFM/AM/DOCK(TAPE)でMDが録音待機中

EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、◀◀/▶▶ボタンを押して「Rec Level?」（録音レベル）を表示させる

2

ENTERボタンを押す

3

◀◀/▶▶ボタンを押して録音レベルを調整する

入力レベルが一番高いときに、レベル表示の－ 4dB がときどき点灯するように調整します。

調整できる範囲は－∞dBから＋18.0dBです。
＋18.0dBから－12.5dBの範囲は0.5dB間隔で、－12.5dBから－30.0dBは2.5dB間隔で、－30dBから－60dBは5.0dB間隔で調整できます。

4

ENTERボタンを押す

「Complete」（完了）と表示された後、元の表示に戻ります。

- この設定を途中でやめたいときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

CDからMDへのデジタル入力録音/アナログ入力録音を選ぶ

MDへのシンクロ録音、シグナルシンクロ録音時に、この設定が有効です。デジタル録音されたCD-RをMDに録音するときは、アナログ入力録音を選んでください。
ディスクを入れてから設定します。

1

入力がCDで停止中

EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、◀◀/▶▶ボタンを押して「Rec Signal?」を表示させる

入力がCDのときに「DIGITAL」が点灯している場合は、現在の設定はデジタル入力録音となっています。点灯していない場合はアナログ入力録音です。

2

ENTERボタンを押す

Dig → Ana?

現在の設定が左側に表示されます。この場合は「Dig→Ana?」でアナログ入力録音にしますか？の意味です。

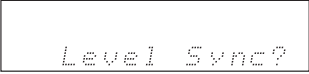
3

ENTERボタンを押して確定する

「Complete」（完了）と表示された後、設定が終了します。

- この設定を途中でやめたいときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

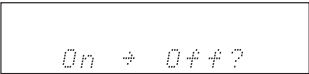
ご注意

CDを取り出したりスタンバイ状態にすると、デジタル入力録音に戻ります。

曲番をつける–レベルシンクを切り換える

- レベルシンクとは、入力レベルの立ち上がりで自動的に曲番をつける機能です。シンクロ録音、シグナルシンクロ録音時レベルシンクがオンになっていると、録音中自動的に曲番がつきます。（ただし、無音部が短すぎると曲番がつかないことがあります。）
- CDのデジタル録音のときは、レベルシンクのオン/オフに関係なく自動的に曲番がつきます。
- 好きなところに曲番をつけたいときは、レベルシンクを「Off」にし、録音中に曲番をつけたいところでMD ●ボタンを押します。（ボタンを押す間隔が短いと曲番がつかないことがあります。）
- レベルシンクが「On」になっていると、入力信号の無音が60秒以上続いた場合、自動的に録音を停止します。
- L.SYNC表示が点灯しているときは、レベルシンクが「On」の状態です。
- ラジオやレコードを録音するとき、曲番がつきすぎる場合は「Off」にしてください。

1

EDIT/NO CLEAR

入力がMDで停止中

EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、◀◀/▶▶ボタンを押して「Level Sync?」を表示させる

2

ENTERボタンを押す

On → Off?

現在の設定が左側に表示されます。
この場合は「On→Off?」でレベルシンクを「オフ」にしますか？の意味です。

3

ENTER

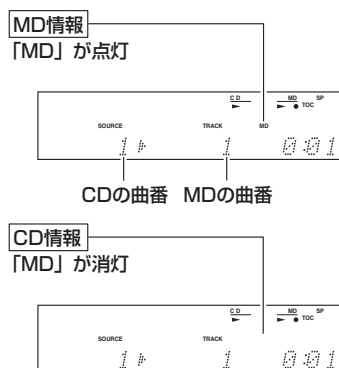
ENTERボタンを押して確定する

オフになったときは「LevelSyncOff」が、オンになったときは「LevelSyncOn」が表示されます。

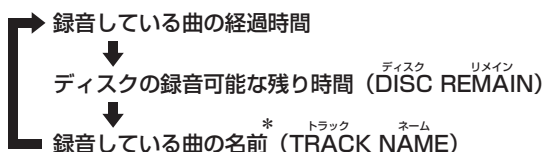
- この設定を途中でやめたいときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

録音中に表示を切り換える

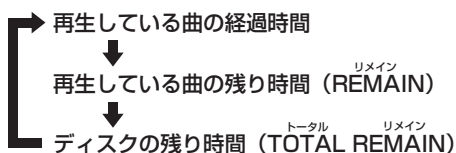
CDからMDに録音中、表示部の情報を切り換えることができます。

- INPUT◀/▶ボタンを押すと、CDとMDの表示を切り換えることができます。

- CD/MD表示切り換え後、DISPLAYボタンを押すと、以下のように表示が切り換わります。

MD情報のとき

録音している曲の経過時間
↓
ディスクの録音可能な残り時間（DISC REMAIN）
↓
録音している曲の名前*（TRACK NAME）

* 名前がついていないときは表示されません。
☞「MD、登録した放送局に名前をつける」（68 ページ）

CD情報のとき

再生している曲の経過時間
↓
再生している曲の残り時間（REMAIN）
↓
ディスクの残り時間（TOTAL REMAIN）

曜日と現在時刻を設定する

お好みにより、12時間（am/pm）表示と24時間表示が選べます。（本書では24時間表示で説明しています。）

1

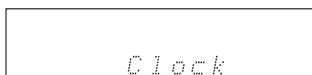
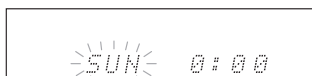
TIMER

TIMERボタンを(くり返し)押して「Clock」を表示させる

Clock

2

ENTERボタンを押す

SUN 0:00

曜日入力になります。

3

⏮/⏭ボタンを押して曜日を選ぶ

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

4

ENTERボタンを押して曜日を確定する

THU 0:00

時間入力になります。

5

または

数字ボタンを押して時刻を合わせる

数字ボタンで4桁（時、分）を続けて入力してください。

THU 19:03

- DISPLAYボタンで、24時間表示と12時間表示を切り換えることができます。
- 12時間（am/pm）表示のときは、>10ボタンでamとpmが切り換わります。
- ⏮/⏭ボタンで時刻を合わせることもできます。

6

時報に合わせてENTERボタンを押す

THU 19:03

時計が始動し、秒を示すドットが点滅を始めます。

時計合わせを中断するときは

EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

曜日、時刻を表示させる

リモコンのCLOCK CALLボタンを押します。
再度CLOCK CALLボタンを押すか、表示を切り換えると時刻表示は消えます。
スタンバイ時は、約8秒間時刻を表示した後、消灯します。

12時間表示/24時間表示を切り換えるには

CLOCK CALLボタンを押して時刻を表示させている間に、DISPLAYボタンを押します。

STANDBY時の時刻表示あり/なしを切り換えるには

電源が入っているときに、本体のON/STANDBYボタンを2秒以上押します。

ご注意

時刻表示を「あり」にすると、「なし」のときより待機電力が増えます。

タイマー機能を使う

Sleepタイマー、Onceタイマー、Everyタイマーがあります。

タイマー予約について

タイマー番号の選択

タイマーは4つまで設定することができます。

タイマーの種類の設定

- タイマー Play（再生）は設定した時間になると選択した機器が再生を始めます。
- タイマー Rec（録音）は設定した時間になると選択した機器の録音を始めます。
- タイマー Recは本機のMD、または本機に接続したRI端子付きのオンキヨー製カセットテープデッキに録音します。

再生機器の設定

CD、MD、FM、AMまたはDOCK（TAPE）を選択できます。なお、外部機器はオンキヨー製DOCKまたはカセットテープデッキをRIケーブルで接続したときのみ、タイマー動作が可能です。
タイマー Rec（録音）は、FM、AMまたはDOCK（TAPE）から選択して録音できます。

曜日の設定

タイマーは1回だけ働く「Onceタイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「Everyタイマー」があります。
また、Everyタイマーは「Everyday（毎日）」、あるいは「毎週月曜から金曜」や「毎週の土曜と日曜」など連続した曜日を自由に設定することもできます。

例） Timer 1　毎朝の目覚ましがわりに
タイマー Play（再生）—Every—Everyday（毎日）—7:00～7:30
Timer 2　毎週月曜から土曜のラジオ放送を録音
タイマー Rec（録音）—Every—MON（月曜日）～SAT（土曜日）—15:10～15:30
Timer 3　今週の日曜だけラジオ放送を録音
タイマー Rec（録音）—Once—SUN（日曜日）—10:00～12:00

ご注意
- タイマー再生中や録音中に、現在時刻や終了時刻などの設定を変更することはできません。
- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。必ず時刻を合わせてください。
- 本機に接続した機器のタイマー予約をするときは接続を確実に行ってください。接続が不完全ですとタイマー再生やタイマー録音はできません。

タイマー表示について

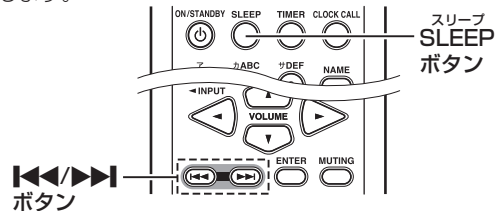
タイマーが1つでも設定されていると、TIMER表示が点灯し、そのタイマー番号が点灯します。
□が点灯している番号には、タイマー Recが設定されています。

同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合

- 開始時刻が早いタイマーが優先されます。
- 開始時刻が同じ場合は、タイマー番号が小さい方が優先されます。

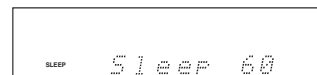
Timer 1　9：00 － 10：00
Timer 2　8：00 － 10：00
優先(タイマー開始時刻が早い)
Timer 3　12：00 － 13：00
優先（タイマー番号が小さい）
Timer 4　12：00 － 12：30

Sleepタイマーを使う

設定した時間が経過すると自動的に本機をスタンバイ状態にします。

SLEEP

SLEEPボタンを押す

SLEEP表示が点灯し、「Sleep 90」と表示され、90分後に電源がスタンバイ状態になります。
ボタンを押すごとに10分単位で時間が短くなります。60と設定すると、60分後に電源がスタンバイ状態になります。

SLEEP　Sleep 60

1分単位で時間を設定したいときは、スリープタイマー時間が表示されている間に⏮/⏭ボタンで設定します。1～99分の範囲で設定することができます。
設定した時間が約8秒間表示された後、元の表示に戻ります。

残り時間を確認するには

SLEEPボタンを押すと、電源がスタンバイ状態になるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が10分以下の表示のときに再びSLEEPボタンを押すと、SLEEPタイマーは解除されます。

Sleepタイマーを解除するには

「Sleep Off」の表示が出るまでSLEEPボタンをくり返し押します。

！ヒント

「CDダビング」中にスリープタイマーの設定時間になった場合、「CDダビング」が完了してからスタンバイ状態になります。この機能を利用すると、寝る前や外出前にCDダビングを始めてもCDダビング完了時に電源をスタンバイ状態にすることができます。

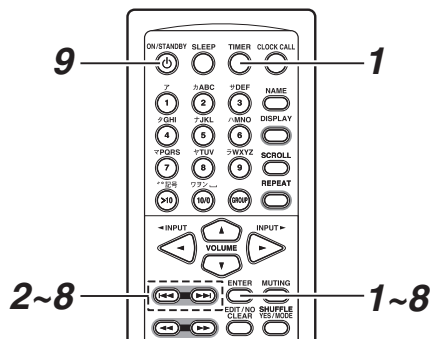
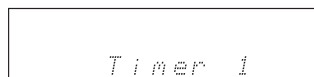
タイマーを予約する

FM、AMのタイマー予約をするには、あらかじめ放送局を登録しておいてください。(☞23、24ページ)

ご注意

現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。
設定中60秒間何も操作しないと元の表示に戻ります。

リモコンのみの操作です

1

<タイマー番号の選択>

Timer 1

TIMER(タイマー)ボタンを(くり返し)押して設定するタイマー番号を選ぶ

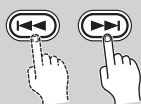
Timer(タイマー) 1からTimer 4のいずれかを選び、ENTER(エンター)ボタンを押します。

「Clock(クロック)」しか表示されない場合は、曜日と時刻が設定されていませんので、最初に曜日と時刻を設定してください。(☞60ページ)

2

<タイマー種類の選択>

Play

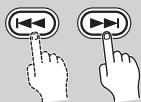
または

⏮/⏭ボタンを押してタイマー Play(プレイ)(再生)またはタイマー Rec(レック)(録音)を選ぶ

タイマーの種類が表示されたらENTERボタンを押します。
タイマー Recは本機のMDまたは本機に接続しているカセットテープデッキに録音されます。

3

ENTER

<再生機器の選択>

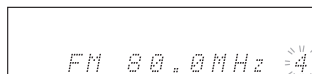
F M

⏮/⏭ボタンを押して再生する機器を選ぶ

再生する機器が表示されたらENTERボタンを押します。
タイマー Rec(録音)のときは、FM、AMまたはDOCK(ドック)(TAPE(テープ))から選べます。

FMまたはAMを選んだ場合

⏮/⏭ボタンを押して再生するプリセットチャンネルを選ぶ

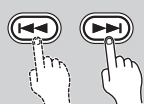
希望のプリセットチャンネルが表示されたらENTERボタンを押します。

FM 80.0MHz 4

ご注意

タイマー Recのとき、再生機器にDOCK(TAPE)を選んでもドック(カセットテープデッキ)は再生状態になりません。このときは、入力がDOCK(TAPE)になりMDが録音状態になるだけです。外部にCSチューナーなどをつなぎ、再生機器のタイマーと併用することにより、CSチューナーなどをMDにタイマー録音することができます。

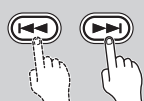
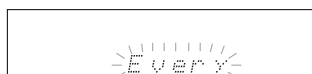
4

＜録音機器の選択＞（タイマー Rec(レック)設定時のみ）

FM → MD

|◀◀/▶▶|ボタンを押して録音する機器を選ぶ

MDまたはTAPE(テープ)を選ぶことができます。ただし、入力名称をTAPEに変えていないときは、カセットテープデッキを接続していてもTAPEを選択することはできません。

録音する機器が表示されたらENTER(エンター)ボタンを押します。

5

＜曜日の設定＞

|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Once(ワンス)」または「Every(エブリー)」を選ぶ

「Once」を選ぶと一度だけ、「Every」を選ぶと毎週タイマーが働きます。
選んだらENTERボタンを押します。

「Once」の場合：設定した曜日に一度だけ働きます。

|◀◀/▶▶|ボタンを押して曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。
曜日の表示は下記の通りです。

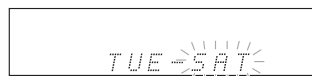
MON	（月曜日）	FRI	（金曜日）
TUE	（火曜日）	SAT	（土曜日）
WED	（水曜日）	SUN	（日曜日）
THU	（木曜日）		

「Every」の場合：設定した曜日に毎週働きます。

|◀◀/▶▶|ボタンを押して曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

MON（月） ⇔ TUE（火） ⇔ WED（水） ⇔ THU（木） ⇔ FRI（金）
⇕ MON（月） ⇔ SUN（日）、FRI（金） ⇔ SAT（土）
SUN（日） ⇔ Days Set ［曜日の範囲をお好みで設定します。］ ⇔ Everyday（毎日） ⇔ SAT（土）

「Days(デイズ) Set(セット)」を選んだ場合：連続した曜日の範囲をお好みで設定します。

① |◀◀/▶▶|ボタンを押して最初の曜日を選ぶ

希望の曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

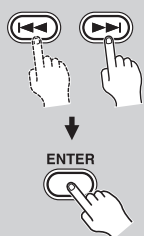
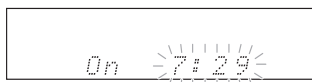
② |◀◀/▶▶|ボタンを押して最後の曜日を選ぶ

希望の曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

この場合、毎週火曜から土曜の設定した時間にタイマーが働きます。
設定できるのは連続した曜日です。月曜日と水曜日など、連続していない曜日を設定することはできません。

6

＜開始時刻の設定＞

On 7:29

ENTER

|◀◀/▶▶|ボタンを押してタイマー開始時刻を設定する

希望の時刻を表示させたらENTERボタンを押します。
リモコンの数字ボタンでも設定できます。
7：29を設定するには、7、2、9と押します。

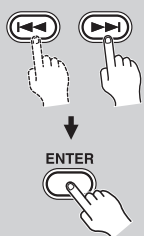
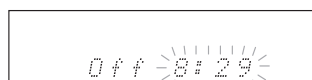
- am/pm表示のときは、＞10ボタンでamとpmが切り換わります。

！ヒント

開始時刻（On）を変更すると、終了時刻（Off）は自動的にその1時間後になります。

7

＜終了時刻の設定＞

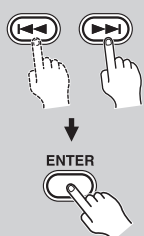
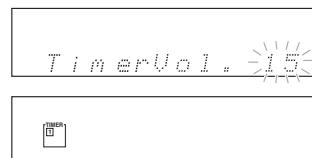
Off 8:29

|◀◀/▶▶|ボタンを押してタイマー終了時刻を設定する

希望の時刻を表示させたらENTERボタンを押します。

8

＜音量の設定＞

TimerVol. 15

TIMER 1

|◀◀/▶▶|ボタンを押してタイマーによる再生時の音量を設定する

設定する音量を表示させたら、ENTERボタンを押します。
音量は、Mut（タイマーRecのみ）、Lst、1、2、3…と設定できます。
お買い上げ時の設定は、タイマーPlayは15、タイマーRecはMutです。
Lst、Mutの動作は次の通りです。

Lst：最後に聞いた音量（スタンバイ状態にしたときの音量）になります。

Mut：MUTING機能が働いて音が消えます。MUTINGを解除すれば最後に聞いた音量になります。

9

＜スタンバイ状態にする＞

電源をスタンバイ状態にする

ON/STANDBYボタンを押して本機の電源をスタンバイ状態にします。

ご注意

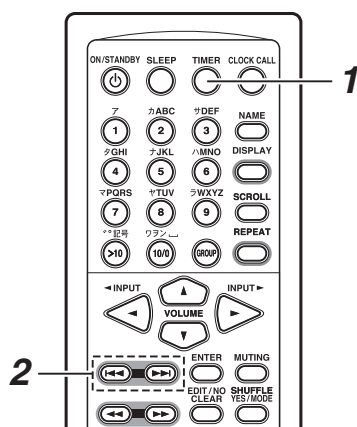
- 電源がスタンバイ状態以外のときには、タイマーの予約時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させるときには、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- タイマー動作中にスリープタイマーの設定をしたり、TIMER ボタンを押すと、動作中のタイマーは解除されます。
- お買い上げ時の設定では、タイマーRec（録音）中は MUTING 機能が働いて音が消えます。音声を聞くには、リモコンの MUTING ボタンを押してください。または、タイマーRec の音量設定で適当な音量に設定してください。

タイマー予約をやり直したいときは…

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、最初から設定してください。

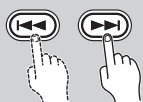
タイマーのOn(実行)/Off(取消)を切り換える

● 予約したタイマーの実行を取り消したり、タイマーを再び実行させることができます。

1

TIMERボタンを（くり返し）押して設定するタイマー番号を表示させる

Timer 1

タイマー番号が点灯していたら､オン（実行）状態です。

2

|◀◀/▶▶|ボタンを押してOn(実行)/Off(取消)を切り換える

Timer On

または

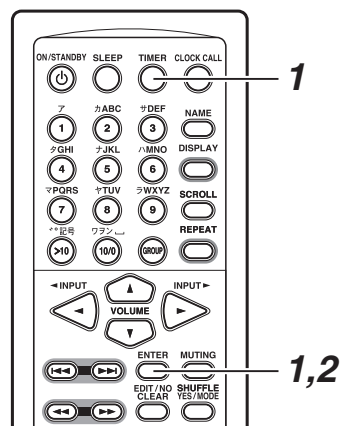
Timer Off

切り換えると約2秒後に元の表示に戻ります。

！ヒント

停電すると現在時刻が消え、すべてのタイマーが「オフ」になりますが、タイマーの内容は記憶されています。
現在時刻を合わせた後、再びタイマーを「オン」に設定できます。

タイマー設定の内容を確認するには

1

TIMERボタンを(くり返し)押して確認したいタイマーの番号を表示させ、ENTERボタンを押す

Timer 1

2

ENTERボタンを (くり返し)押して内容を確認する

Rec

押すたびに現在設定されている内容を順に確認できます。

！ヒント

確認中、|◀◀/▶▶|ボタンを押して設定内容を変更することもできます。
TIMER設定がOffになっている場合、設定内容を変更して最後まで確認すると自動的にタイマー設定がOnになります。
すべての項目を確認してしばらくすると、元の表示に戻ります。
確認を途中でやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

音質を調整する

低音を調整する

1 TONEボタンを押して「Bass」を表示させる

2 I◀◀/▶▶Iボタンを押して低音を調整し、ENTERボタンを押す

- お買い上げ時の設定は「0」ですが、－10から＋10の間で2ステップずつ調整できます。
  実際に音を聞きながら、音がひずまない範囲でお使いください。
- ENTERボタンを押すと、TREBLE（高音）の調整になります。

ご注意

操作中、約8秒間何もしないと元の表示に戻ります。

高音を調整する

1 TONEボタンを(くり返し)押して「Treble」を表示させる

2 I◀◀/▶▶Iボタンを押して高音を調整し、ENTERボタンを押す

- お買い上げ時の設定は「0」ですが、－10から＋10の間で2ステップずつ調整できます。
  実際に音を聞きながら、音がひずまない範囲でお使いください。
- ENTERボタンを押すと、元の表示に戻ります。

ご注意

操作中、約8秒間何もしないと元の表示に戻ります。

重低音を強調する

S.BASS ボタンを押す

ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

S.BASS 機能が働いているときは、S.BASS インジケーターが点灯します。

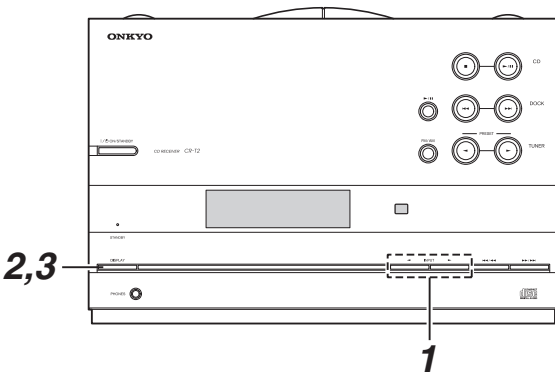
接続した機器の表示名称を変える

RI端子付きオンキヨー製品を接続した場合、ダイレクトチェンジなどのシステム動作を正しく行うために入力の表示名称を設定する必要があります。また、接続した外部機器に合わせて、入力の表示名称を変えることができます。

本体で操作します

1

INPUT◀/▶ボタンを（くり返し）押して「DOCK」を選ぶ

2

DISPLAYボタンを約3秒間押し続ける

3

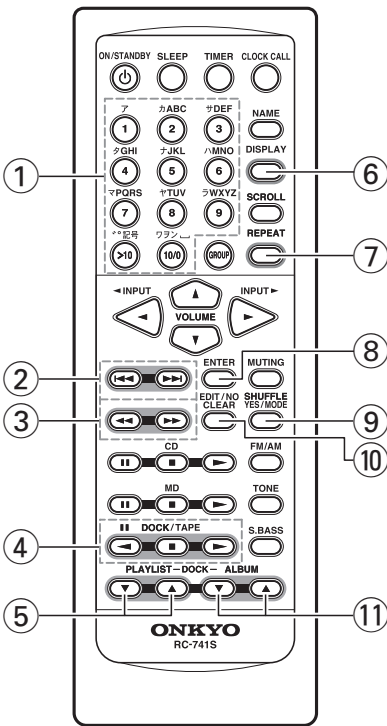
一度、DISPLAYボタンを離した後、もう一度DISPLAYボタンを押して名称を選ぶ

押すたびに次のように切り換わります。

2秒後､元の表示に戻ります。

リモコンの操作ボタンについて

接続した機器の表示名称を変えることによって、使用できるリモコンのボタンの働きは右表のとおりです。

- 機器の接続については、18、19ページをご覧ください。
- それぞれのボタンの働きについての詳細は、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 空欄はボタンを押しても動作しません。
- ダブルカセットデッキの場合は、デッキBのみ操作することができます。

例：⑨ SHUFFLE/YES/MODEボタンの場合

- DOCK/TAPE端子にカセットテープデッキを接続して入力名称を「TAPE」にしたときは、DOLBY NRボタンとして働きます。
- DOCK/TAPE端子にDS-A1XPなどのRIドックを接続して入力名称を「DOCK」にしたときは、SHUFFLEボタンとして働きます。

	接続端子	DOCK/TAPE	
	入力名称	TAPE	DOCK
①	1〜9		
	10/0		
	>10		
②	⏮/⏭	◀◀/▶▶	⏮/⏭
③	◀◀/▶▶		◀◀/▶▶
④	DOCK/TAPE ▶	▶	▶
	DOCK/TAPE ■	■	■
	DOCK/TAPE ◀/⏸	◀	⏸
⑤	DOCK PLAYLIST ▼/▲		◀ PLAYLIST ▶
⑥	DISPLAY		BACKLIGHT
⑦	REPEAT	REV MODE	REPEAT
⑧	ENTER		SELECT
⑨	SHUFFLE/YES/MODE	DOLBY NR	SHUFFLE
⑩	EDIT/NO/CLEAR		
⑪	DOCK ALBUM ▼/▲		◀ ALBUM ▶

MD、登録した放送局に名前をつける

MDにはディスク名や曲名を、FMやAMの登録したチャンネルには放送局名などを、アルファベットやカタカナでつけることができます。

登録した放送局に名前をつける

FMまたはAMのチャンネルを選び、右項の「リモコンで文字を入力する」を行います。8文字までの名前がつけられます。

MDにディスク名をつける

1. MDをセットし、入力をMDにする
2. 曲を選択しているときや再生中などのときは、MD ■（ストップ）ボタンを押す
3. 右項の「リモコンで文字を入力する」を行う

MDに曲名をつける

1. MDをセットし、入力をMDにする
2. ⏮/⏭ボタンを押して、名前をつけたい曲を選ぶ
3. 右項の「リモコンで文字を入力する」を行う

MDにグループ名をつける（グループがあるとき）

1. MDをセットし、入力をMDにする
2. GROUP（グループ）ボタンを押した後、⏮/⏭ボタンを押して名前をつけたいグループを選ぶ
3. 右項の「リモコンで文字を入力する」を行う

ご注意

- 誤消去防止孔の開いたMDや、再生専用MDには名前はつけられません。(☞73ページ)
- 曲に名前をつけたいときは、録音中、再生中にもつけることができます。録音中は次の曲に移ってしまうと、入力したところまでを記録します。再生中は、名前入力が終わるまでその曲をくり返し再生します。グループ名は録音中にはつけられません。
- 録音中、MDに曲名をつける場合は、表示をMD情報に切り換えてから文字を入力してください。

- MEM（メモリー）、RDM（ランダム）、1GR（グループ）表示が点灯している場合は、ディスク名はつけることができません。

リモコンで文字を入力する

入力できる文字

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
_ @ ` < > # ＄ % & * = ; : + − / ( ) ? ! ' ", . ␣(空白)
(挿入)
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン
ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ゛ ゜

表示されるカンタンネーム
(放送局に名前をつけるときは表示されません。)
⏮/⏭ボタンを押して選んでください。

BALLAD（バラード）	POPS（ポップス）	African（アフリカン）	Anthology（アンソロジー）	Omnibus（オムニバス）
BLUES（ブルース）	REGGAE（レゲエ）	American（アメリカン）	Best of ␣（ベスト オブ）	Selection（セレクション）
CLASSIC（クラシック）	ROCK（ロック）	Asian（エイジアン）	Collection（コレクション）	Special（スペシャル）
DANCE（ダンス）	SOUL（ソウル）	British（ブリティシュ）	Favorite（フェイバリット）	Super（スーパー）
FUSION（フュージョン）	TECHNO（テクノ）	Euro（ユーロ）	Happy（ハッピー）	␣（空白）
JAZZ（ジャズ）	VOCAL（ボーカル）	German（ジャーマン）	Heavy（ヘビー）	
LIVE（ライブ）		Japanese（ジャパニーズ）	Hit Songs（ヒット ソングズ）	

1

NAME（ネーム）ボタンを押す

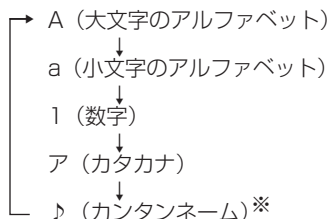
EDIT/NO/CLEAR（エディット/ノー/クリア）ボタンを押した後、⏮/⏭ボタンで「Name In?（ネーム イン）」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押して文字入力モードにすることもできます。

!ヒント

左項を参照して名前をつけたい項目を選んでおきます。

2

DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押して入力する文字の種類を選ぶ

ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。SCROLL（スクロール）ボタンを押すと逆順に切り換わります。

※ 放送局に名前をつけるときには表示されません。

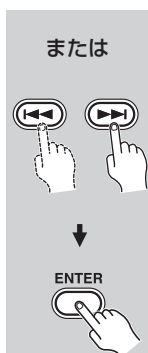
MD、登録した放送局に名前をつける

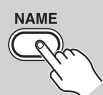
アルファベットを入力するには
数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字が切り換わります。
たとえば、② ボタンは押すごとにA→B→C→Aと切り換わりますので、希望の文字を表示させてENTERボタンを押してください。

数字を入力するには
数字ボタンを押すとその数字が入力されます。

カタカナを入力するには
数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字の行が切り換わります。
たとえば、① ボタンを押すごとに「ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ」と切り換わりますので、希望の文字を表示させてENTERボタンを押してください。

カンタンネームを入力するには（放送局に名前をつけるときは表示されません。）
数字ボタンを押すごとにボタンの上のアルファベットが頭文字になるカンタンネームが切り換わります。
たとえば、③ ボタンを押すごとにDANCE→Euro→Favorite→FUSIONと切り換わりますので、希望のカンタンネームを表示させてENTERボタンを押してください。

または

記号を入力するには
>10 ボタンは、押すごとに記載されている記号が切り換わります。（>10 ボタンは␣./＊－,!?&'()10/0ボタンはスペースが入力できます。）希望の記号を表示させてENTERボタンを押してください。
⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して文字を選び、ENTERボタンを押して文字を入力することもできます。

ご注意
- 数字ボタンではすべての記号を入力することはできません。
- 文字を挿入するときの「▯」やその他記号の入力は、⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して選んでください。
- 濁点（゛）や半濁点（゜）は1文字としてカウントされます。また、「ア゛」のように通常濁点や半濁点を伴わない文字を入力すると、確定したときに「ア」と修正されます。

3 NAMEボタンを押して入力を終了する

「Complete」（完了）と表示された後、文字入力が終了します。
YES/MODEボタンを押して終了することもできます。

文字入力用ボタン一覧

␣は空白を表します。

ボタン	A（大文字のアルファベット）	a（小文字のアルファベット）	1（数字）	ア（カタカナ）	♪（カンタンネーム）※
ア 1			1	アイウエオァィゥェォ	
カABC 2	ABC	abc	2	カキクケコ	African American Anthology Asian BALLAD Best␣of␣ BLUES British CLASSIC Collection
サDEF 3	DEF	def	3	サシスセソ	DANCE Euro Favorite FUSION
タGHI 4	GHI	ghi	4	タチツテトッ	German Happy Heavy Hit␣Songs
ナJKL 5	JKL	jkl	5	ナニヌネノ	Japanese JAZZ LIVE
ハMNO 6	MNO	mno	6	ハヒフヘホ	Omnibus
マPQRS 7	PQRS	pqrs	7	マミムメモ	POPS REGGAE ROCK Selection SOUL Special Super
ヤTUV 8	TUV	tuv	8	ヤユヨャュョ	TECHNO VOCAL
ラWXYZ 9	WXYZ	wxyz	9	ラリルレロ	
ワヲン␣ 10/0	␣	␣	0	ワヲン␣	␣
゛゜記号 >10	␣./＊－,!?&'()	␣./＊－,!?&'()	␣./＊－,!?&'()	␣゛゜./＊－,!?&'()	␣./＊－,!?&'()

※カンタンネームはFM/AMのときは入力できません。

文字を訂正/消去する

文字入力モードになっていないときは、NAME（ネーム）ボタンを押してください。

❶ ◀◀/▶▶ボタンを押して、訂正または消去する文字を点滅させる

❷ ● 訂正するときは、「リモコンで文字を入力する」（69ページ）の手順 *2* にしたがって正しい文字を入力する
● 消去するときは、EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押す

続けて文字を訂正/消去する場合は上記❶ ❷をくり返してください。終わるときはNAMEボタンを押してください。
EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを2秒以上押し続けると、それまでの文字編集を取り消して元の表示に戻ります。

文字を挿入する

文字入力モードになっていないときは、NAMEボタンを押してください。

❶ ◀◀/▶▶ボタンを押して、挿入したい場所の後ろの文字を点滅させる

❷ |◀◀ボタンを押して「M」を表示させ、ENTER（エンター）ボタンを押す

❸「リモコンで文字を入力する」の手順 *2* にしたがって挿入する文字を入力する

続けて文字を挿入する場合は上記❶ ❷をくり返してください。終わるときはNAMEボタンを押してください。

放送局につけた名前を消去する

❶ 入力をFMまたはAMにする

❷ |◀◀/▶▶|ボタンを押して、名前を消去したいプリセットチャンネルを選ぶ

❸ EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Name（ネーム） Erase（イレーズ）?」を表示させる

❹ ENTERボタンを押す
「Complete（コンプリート）」と表示された後、名前が消去されます。

MDにつけた名前をコピーする

他のディスクや曲につけた名前をコピーして同じ名前をつけることができます。
コピーできるのは、ディスク名、曲名、グループ名で、それぞれ最後につけた名前が選んだ対象にコピーされます。
ここでは、グループ名をコピーする操作を説明します。

❶ グループに名前をつける（☞68ページ）

❷ 同じ名前をつけたいグループを選ぶ
グループからはグループへのみ、トラックからはトラックへのみ、ディスクからはディスクへのみ名前をコピーできます。

❸ EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Name（ネーム） Copy（コピー）?」を表示させる

❹ ENTERボタンを押す
「Complete」と表示された後、その名前がコピーされます。

製品の取り扱いについて

お手入れについて

製品の表面はときどき柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと、乾いた布で仕上げをしてください。固い布やシンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書などをお読みください。
スピーカーのサランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るかブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
付属のスピーカーは（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると、本機との相互作用によりテレビに色むらが発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

取り扱い上のご注意

付属のスピーカーは通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。
① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

結露について

CD/MDチューナーアンプを冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、CD/MDチューナーアンプの内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。CD/MDチューナーアンプをご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、CD/MDチューナーアンプの電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

メモリー保持について

CD/MDチューナーアンプには、メモリー保持用の予備電源装置が内蔵されています。これは、お客様が設定した内容などを停電時などに保護するためのものです。CD/MDチューナーアンプの電源コードを抜いた状態で、メモリーを保持できるのは約1週間です。
ただし、時刻は保護されずタイマーはOFF設定になりますので、再度設定してください。

CDについて

再生上のご注意

CD（コンパクトディスク）はディスクレーベル面に下記のマークの入ったものをご使用ください。
パソコン用のCD-ROMなど音楽用でないディスクは使用しないでください。異音の発生などでスピーカーやアンプの故障の原因となります。

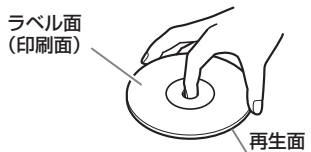
※CD/MDチューナーアンプは音楽用CD（CD-DA）として録音されたCD-R、CD-RWに対応しています。
ディスクの特性、傷、汚れ、録音状態によっては再生できないことがあります。また、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは絶対に使用しないでください。ディスクがつまるなど機器の故障の原因となります。

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

取り扱いについて

再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんラベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また、傷などをつけないようにしてください。

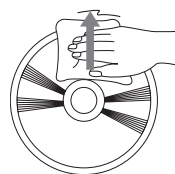
レンタルCDについてのご注意

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

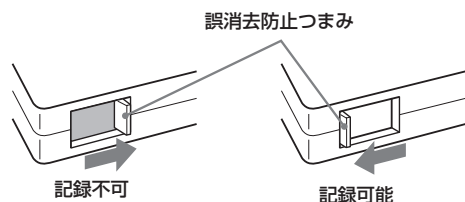
インクジェットプリンター対応CD-R/CD-RWについてのご注意

プリンターでラベル面への印刷が可能なCD-R/CD-RWを本機に長時間入れたままにしておきますと、ディスクが内部で貼り付き、取り出せなくなったり、故障の原因となる恐れがあります。必要なとき以外は、ディスクを入れたままにしないでケースに保管してください。
なお、印刷直後のディスクは貼り付きやすいので、使用しないでください。

CDのお手入れについて

汚れにより信号が読み取りにくくなり、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので、絶対に使用しないでください。

MDについて

MDの誤消去防止について

録音用のMDには録音した内容を誤って消さないための誤消去防止つまみがあります。録音を禁止するときは、MDの誤消去防止つまみをずらして、図のように孔が開いた状態にします（記録不可状態）。

MDに録音するときや名前をつけるなどの編集を行うときは、録音用のMDを使用し、記録可能状態にしておいてください。

MDの取り扱いについて

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えます。しかし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

内部のディスクに直接触れないでください

ディスクのシャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について

直射日光が当たるところなど高温の場所や湿度の高い場所、ほこりの多いところ、風通しの悪いところ、大型のエアコンやチカチカする古い蛍光灯など大きな電源ノイズを発生する機器のそばには置かないでください。

長時間使用しないときは

MDがCD/MDチューナーアンプの中に入っているときは、ディスクのシャッターが開いた状態になっています。長時間使用しないときは、内部のディスクにほこりがつくのを防ぐため、MDをCD/MDチューナーアンプから取り出しておいてください。

定期的にお手入れを

カートリッジ表面についたほこりやごみを乾いた布でふき取ってください。

お知らせ

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問い合わせ先：
（社）私的録音補償金管理協会
Tel. 03-3261-3444（代表）

MDのシステム上の制約について

MDは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- **最大録音可能時間に達していなくても、「Disc Full」が表示される。**
  MDは、時間に関係なく、曲数がいっぱいになると「Disc Full」の表示が出ます。256曲以上は録音できません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消すか、2枚のMDに分けて録音してください。
- **曲数にも録音時間にも余裕があるのに、「Disc Full」が表示される。**
  曲中にエンファシス情報などの「入」「切」が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full」の表示が出ます。
- **MDへの録音状況によっては、短い曲を何曲消してもMDの残り時間が増えない。**
- **録音方法により曲をつなぐことができない場合がある。**
  編集を行ってできた曲は、つなぐことができない場合があります。
- **MDの状態や録音のしかたによっては、録音可能な残り時間が録音した時間以上に減ることがある。**
- **編集でできた曲で早戻し、早送りを行うと、音が途切れることがある。**
- **曲番が正確につかないことがある。**
  CDを録音するとき、CDの録音内容によって、短い曲ができる場合があります。また、レベルシンク「オン」で自動的に曲の区切りをつけた場合、録音するものの内容によっては、曲番が正確につかない場合があります。
- **「MD Reading」の表示がなかなか消えない。**
  一度も使用していない録音用ディスクを入れると、通常より「MD Reading」が長く表示されます。
- **MDには約1,700文字のネームが入力できます。**
  ただし、グループ機能を使用したり、カタカナを入力すると入力可能文字数はこれより少なくなります。
- **グループ機能の情報は、通常ネームを書きこむエリアに書きこみます。**
  そのため、文字を多く入れると情報を書きこむエリアが少なくなり、グループ編集ができない場合があります。その際は、ネームの文字数を減らすとグループ編集ができることがあります。
- **ディスクに入るトラック数/グループ数/入力文字数**
  80分ディスクの場合で、最大255トラック、99グループ、約1700文字を記録することができます。

MDLPについて
LP2、LP4の各モードで録音したディスクは、LP2、LP4モード搭載の機器以外では再生できません。

シリアルコピーマネージメントシステム

デジタル入力で録音したCD-RやMDをさらにデジタル入力録音することはできません。本機はシリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。この規格は、各種デジタルAV機器の間で、デジタル信号どうしのコピーを「1回だけ」と規制したもので、3つの原則*があります。

* 本機にはデジタル入力端子がありませんので、一部下記の原則は該当しません。

原則1
CDまたはDAT、MDからMDへ「デジタル入力録音」できます。ただし、一度「デジタル入力録音」したものを他のMDへ「デジタル信号のままデジタル入力録音」できません。

原則2
アナログレコードやFM放送などをアナログ入力録音したMDから、他のMDへ「デジタル入力録音」できます。ただし、一度「デジタル入力録音」したMDから、他のMDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。MDレコーダーどうしをアナログ入出力端子につないだときは、何回でも録音できます。

原則3
DATデッキまたは32kHz、48kHzのサンプリング周波数に対応するMDレコーダーの場合、衛星放送のデジタル音声信号も「デジタル入力録音」できます。この場合は､2回目も「デジタル入力録音」できます。ただし、BSチューナー（衛星放送受信機）によっては、2回目のデジタル入力録音ができない場合があります。

メッセージ一覧

ご使用の状況により、メッセージが表示されます。
意味は下表のとおりです。

メッセージ	意味
Cannot Copy	MDの制限により、デジタル録音できない状態になっている。（「シリアルコピーマネージメントシステムについて」参照）
Cannot Edit	編集できないMDで編集しようとした。MDが編集できない状態にある。
Cannot Read＊	異常な（損傷している、TOCが入っていない）ため、MDが読み込めない。ディスクを交換してください。
Cannot Rec	再生専用MDに録音しようとした。デジタル録音したCD-RをMDにデジタル録音しようとした。
Cannot Write	TOC更新時、ディスクの傷等のため、正しく書き込むことができなかった。
CD/MD No Disc	ディスクが入っていない。（CD、MD）
CD Dub Fail	CDダビングを起動できなかった。
Complete	編集/設定が完了した。
Disc Full	MDの録音可能部分がないため、録音できない。（「MDのシステム上の制約について」73ページ参照）
Er-CD＊＊＊	CDの動作に異常がある。（電源を切って、再度入れてみてください。それでもエラー表示が出るときは、お近くのオンキヨー修理窓口にお問い合わせください。）
Er-MD＊＊＊	MDの動作に異常がある。（電源を切って、再度入れてみてください。それでもエラー表示が出るときは、お近くのオンキヨー修理窓口にお問い合わせください。）
Full	ネーム入力中に文字数が最大値に達した。
Group Disc	グループ録音したMDをグループモードに設定せずに編集しようとした。
Group Full	グループ数が99を超えている。
Impossible	MDシステムの制約上、不可能な操作をした。
MD Blank Disc	曲もディスク名も記録されていない録音用MDが入っている。
MD Writing	MDへの書き込み中。
Memory Full	25曲を超えてメモリーしようとした。または、チューナーで30局を超えてメモリーしようとした。
Name Full	入っている曲名、グループ名、ディスク名が最大値に達した。
No Change	ネーム入力で変更がなかった。
No Track	再生、編集する曲がない。（曲のあるグループあるいはグループに入っていない曲を選んでください。）
Protected	MDが記録不可状態になっている。
Recording	録音中にできない操作をした。
Signal Wait	MDがシグナルウエイト中。
Time Protect	CD高速ダビング終了後、同じCDを74分以内にCD高速ダビングしようとした。
TOC Form＊＊＊	記録されているTOC情報に異常があり読めない。（全曲削除して録音をやり直してください。）

※＊や＊＊＊には、数字や記号が入ります。

困ったときは

まず下表で点検してみてください。接続した他の機器に原因がある場合もあります。他の機器の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

■ すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには

1. 本機をスタンバイ状態にした後、電源コードをコンセントから抜きます。
2. 本体のON/STANDBYボタンを押しながら、電源コードをコンセントに差し込みます。

   表示部に「RESET」と表示された後、スタンバイ状態になります。

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、10秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

電源が途中で切れる

- 表示部にSLEEP表示が点灯している場合は、スリープタイマー動作中です。解除してください。**(61ページ)**
- タイマー再生、録音 **(62〜64ページ)** は終了時刻になるとスタンバイ状態になります。
- STANDBYインジケーターが点滅しているときは、保護回路が働いている可能性があります。電源プラグをコンセントから抜き、再び差し直してください。それでも直らない場合は、お買い上げ店またはオンキヨー修理窓口にご連絡ください。

音に関して

音が出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
- スピーカーが正しく接続されていますか？スピーカーのしん線は本体のスピーカー接続端子に確実に接続してください。**(15ページ)**
- ボリュームの音量レベルが小さすぎませんか?
- 入力ソースは正しく選択されていますか?
- MUTINGインジケーターが点滅している場合、ミューティング機能が働いていますので、解除してください。**(21ページ)**
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーからの音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。**(21ページ)**

音が良くない/雑音が入る

- スピーカーコードの⊕/⊖が正しく接続されているかご確認ください。向かって左側に置くスピーカーを本体のL端子、右側のスピーカーをR端子に接続してください。**(15ページ)**
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響をうけることがあります。テレビとCD/MDチューナーアンプを離してください。
- 携帯電話の通話中など、CD/MDチューナーアンプの近くに強い電波を発生させる機器があると、ノイズが発生する場合があります。
- CD/MDチューナーアンプは回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中にCD/MDのディスクを読み取る音が聞こえることがあります。

振動で音が途切れる

- CD/MDチューナーアンプは据え置きタイプで設計されていますので、できるだけ振動の少ない場所に設置してご使用ください。

ヘッドホンから音が出ない/ノイズが出る

- 接触不良の場合があります。ヘッドホンの端子を清掃してください。(清掃方法については、ヘッドホンに付属の取扱説明書をご確認ください。)また、ヘッドホンケーブルの断線の可能性もありますので、ご確認ください。

音質に関して

- 電源投入後10〜30分程度経過した方が音質は安定します。
- オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

CD/MD に関して

再生が始まるまでに時間がかかる

- 曲数の多いディスクの場合、読み込みに時間がかかることがあります。

音が飛ぶ

- CD/MDチューナーアンプに振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると、音飛びすることがあります。

曲をメモリーすることができない

- ディスクがCD/MDチューナーアンプに入っていること、メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲であることを確認してください。

ディスクが入らない

- 一度電源プラグを抜いて、もう一度差してください。
- 別のディスクがすでに入っていないか、MDの場合はディスクの方向も確認してください。
- 異なるディスクを使用してみてください。

ディスクが入っているのに再生しない

- CDの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- 何も録音されていないディスクが入っていませんか？録音されているディスクと取り換えてください。
- 結露していると思われる場合は、電源を入れて約1時間放置した後に操作してください。**(71ページ)**

ディスクの曲順通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の再生モードを解除してください。**(31、35ページ)**

CDが取り出せない

- CD OPEN/EJECTボタンを3秒以上押し続けてください。
- 「すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには」**(本ページ左項)** を行った後、電源を入れてください。あるいは、CD OPEN/EJECTボタンを押してください。

MDの向きを間違って入れて取り出せない

- 弊社コールセンターにお問い合わせください。

困ったときは

複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「No Disc」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

ＦＭ/ＡＭ放送に関して

放送に雑音が入る/FMステレオ放送のとき、「サー」というノイズが多い/オートプリセットで放送局が呼び出せない(FMのみ)/FM放送で「FM ST」表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。**(16ページ)**
- アンテナの位置や方向を変えてみてください。**(22ページ)**
- テレビやコンピューターから離してください。
- アンテナをスピーカーや他のケーブル類から離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると、雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると、放送を受信しにくくなります。
- FMモードをモノラルに切り換えてみてください。**(25ページ)**
- AM受信時リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。
- それでも受信状態がよくないときは、市販の室内アンテナまたは屋外アンテナの設置をおすすめします。屋外アンテナの設置については、販売店にご相談ください。

停電になったり、電源プラグを抜いたときは

- メモリーは通常約1週間は保持されます。登録した放送局が消えてしまった場合は、再度登録を行ってください。
- 現在時刻は解除されるので、現在時刻、タイマーを設定し直してください。

リモコンに関して

リモコンが働かない

- 電池の極性(⊕、⊖)が、表示通り正しく入っているか確認してください。**(9ページ)**
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。(種類の異なる電池の使用や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください)
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？
- 本体のリモコン受光部に強い光(インバータ蛍光灯や直射日光)が当たっていませんか？
- オーディオラックのドアのガラスに色が付いていると、正常に動作しないことがあります。
- 部屋の蛍光灯が消耗してちらついていると、CD/MDチューナーアンプが誤動作することがあります。蛍光灯を確認してください。

外部機器との接続に関して

オンキヨー製外部機器とのシステム動作が働かない

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。**(17〜19ページ)**
  RIケーブルの接続だけではシステム動作は働きません。
- 外部入力機器の表示名称を正しく設定してください。**(67ページ)**

レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か確認してください。
- 内蔵していないレコードプレーヤーの場合は、別途フォノイコライザーが必要です。
- レコードプレーヤーにMCカートリッジをお使いの場合は、昇圧トランスまたはヘッドアンプが必要です。

時刻、タイマー再生・録音に関して

タイマー再生・録音しない

- 現在時刻は正しく設定されていますか？
  時刻が設定されていないと、タイマー再生、録音はできません。曜日と現在時刻を設定してください。**(60ページ)**
- 開始時刻に電源が入っているとタイマーは動作しません。タイマー開始前は必ず電源をスタンバイ状態にしてください。**(64ページ)**
- タイマー予約の時間が重なっていると働かないタイマーがあります。時間をずらして設定してください。**(61ページ)**
- オンキヨー製外部機器の場合はRIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。また、表示名称が正しく設定されているか確認してください。**(67ページ)**
- MDにタイマー録音するには録音可能なMDをセットしておく必要があります。

スタンバイ状態で時計表示が出ない

- スタンバイ時の時刻表示を「あり」に設定してください。**(60ページ)**

MDの録音/編集に関して

> MDの録音、編集(名前をつける、消去する等)の情報はMDを取り出すときやスタンバイ状態になるときに、MDの目次部分(TOC)に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源プラグを抜いたり本体を揺らしたりしないでください。

録音ができない

「Cannot Rec」と表示される
- シリアルコピーマネジメントシステムの制限によりデジタル録音はできません。**(58、74ページ)**
- 再生用のMDです。録音用と交換してください。

「Protected」と表示される
- MDが記録不可状態になっています。誤消去防止つまみを閉じて記録可能状態にしてください。

「Disc Full」と表示される
- MDに空きがありません。新しいMDと交換してください。

「Retry Error」と表示される
- いったんMDを取り出し、再度録音しなおしてください。頻繁に表示される場合は、オンキヨー修理窓口にご連絡ください。
- ディスクの残り時間が48秒以下の場合、録音できないことがあります。

録音レベルが小さい/音が歪む

- 録音レベルを調整してください。**(58ページ)**

困ったときは

「CDダビング」ができない（デジタル録音されたCD-Rは、デジタル録音のCDダビングはできません。）

- 「Peak（ピーク） Search（サーチ）」と点滅している場合は、録音レベルを自動補正するDLAリンク機能が働いています。点滅後、ダビングを開始しますのでお待ちください。また、DLAリンク機能を「オフ」にすることもできます。**（57ページ）**

「CD Dub Fail」と表示される

- MD部が動作中です。しばらく待ってからもう一度CDダビングを行ってください。
- CDがランダム再生モードになっているとCDダビングできません。通常再生に戻してください。

「CD高速ダビング」ができない

- CDがメモリー、ランダム再生モードになっているとCD高速ダビングは働きません。通常の再生モードに戻してください。
  また、CD高速ダビング開始後、同じCDを74分以内にCD高速ダビングすることはできません。**（51ページ）**

「ＣＤ高速ダビング」で音飛びする

- CD高速ダビングはディスクの汚れ等の影響を受けやすくなります。
  音飛び、ノイズ等が発生する場合は、通常のCDダビングで録音してください。

「シンクロ録音」ができない

- 表示部に「MD Reading」が表示されている間はシンクロ録音を開始することができません。しばらく待ってから操作してください。

録音すると必ずグループができる

- グループ録音の設定が「オン」になっています。設定を「オフ」にしてください。**（56ページ）**

録音した曲の始めの数秒が切れる

- 入力を「MD」にしたとき、「Reading（リーディング）」と表示されている場合は、MDの読み込みを行っています。MDの読み込みが完了してから、録音を開始してください。

録音時、瞬間的にノイズが発生する

- LP4モード録音では、圧縮方式の特性上、録音元の音源によってごくまれに瞬間的なノイズが発生します。SPモードまたはLP2モードでの録音をお試しください。

ディスクに記載の録音時間と、録音時間・残録音時間の合計が一致しない

- ディスクの録音箇所には一定の範囲（時間）単位での録音がされるため、くり返しの編集や削除などにより、録音時間が減少する場合があります。

録音したディスクを再生すると音が小さい/大きい

- 録音レベルを調整してください。**（58ページ）**

名前がつけられない

- 録音用のMDを使用してください。MDの誤消去防止つまみが開いて記録不可状態になっている場合は、誤消去防止つまみを閉じてください。**（73ページ）**
- メモリー、ランダム、MD1グループ再生モードになっていると名前はつけられません。通常の再生モードに戻してください。**（35ページ）**

すでに何曲か録音してあるMDなのに録音を開始すると1Trからになる

- グループ録音設定が「オン」になっていると、録音開始時に新しいグループを作成して録音するため、１Trと表示されます。

グループ録音設定を「オン」にしているのにグループにならない

- トラック指定CDダビングのときはグループになりません。また、シンクロ録音のときは、MD■（ストップ）ボタンを押すと、そこでグループが終わります。

多くの曲番に分かれて録音されてしまう

- ラジオ、レコード等から録音する場合、無音部分を検出して曲番が多くつく場合があります。録音レベルを上げても改善しない場合は、レベルシンク機能を「オフ」にしてください。

曲番がつかない

- 無音部分が短いと曲番がつかない場合があります。

本機で録音したMDが本機以外のプレーヤーで再生できない

- LP2やLP4（MDLPモード）を使って録音したMDはMDLP対応機器でないと再生できません。お持ちの機器がMDLP対応か確認してください。

MDの編集ができない

- MDは録音用を使用し、記録不可状態なら誤消去防止つまみを閉じてください。**（73ページ）**
- メモリー、ランダム、MD1グループ再生モードになっていると編集できません。通常の再生モードに戻してください。**（35ページ）**
- デジタル録音した曲とアナログ録音した曲をCombine（コンバイン）することはできません。**（47ページ）**
- 異なる録音モードで録音した曲をCombineすることはできません。(LP2とLP4など）**（47ページ）**

録音後、停電になった

TOC表示が点灯、点滅中に停電になった場合は、TOCに書き込まれる前の記録内容は消去されます。また、誤って電源コードを抜いた場合も同様に消去されます。

その他

ディスクが熱くなる

- 気温や動作状態にもよりますが、CD/MDチューナーアンプから取り出したディスクが熱くなっていることがありますが、故障ではありません。

停電になった

- 時計が止まって「－－：－－」になり、すべてのタイマーが「オフ」になります。あらためて時計を設定し直し、必要なタイマーを「オン」に設定してください。

電源コードをコンセントに 差し込んだとき、「RESET」と表示される

- 長期間電源コードが抜かれていたため、メモリーの内容がリセットされ、すべてお買い上げ時の設定に戻りました。あらためて必要な設定を行ってください。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりません。大切な録音をするときには、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

CD/MDチューナーアンプはマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。
そのようなときは、電源プラグを抜いて10秒以上待ってからあらためて電源プラグを差してください。
それでも正常な動作に復帰しないときは、75ページの「すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには」を行ってください。

主な仕様

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

本体部（FR-T2）

■総合

電源・電圧	AC 100V、50/60Hz
消費電力	45W
待機時電力	0.2W
最大外形寸法	300(幅)×203(高さ)×215(奥行)mm
質量	3.6kg
音声入力　アナログ	1
音声出力　アナログ	1
サブウーファープリアウト	1
スピーカー	1系統
ヘッドホン	1

■アンプ部

定格出力	10W＋10W（6Ω、1kHz、全高調波歪率10%以下、2ch駆動時）
全高調波歪率	0.07%（1kHz 1W出力時） 0.4%（40Hz～20kHz 1W出力時）
ダンピングファクター	25（6Ω）
入力感度/インピーダンス	200mV/50kΩ（DOCK/TAPE IN）
周波数特性	20Hz～20kHz ±3dB（DOCK/TAPE OUT）
トーンコントロール最大変化量	±10dB/100Hz（BASS） ±10dB/10kHz（TREBLE） ＋4dB/80Hz（S.BASS1） ＋8dB/80Hz（S.BASS2）
SN比	80dB（DOCK/TAPE, IHF-A）
スピーカー適応インピーダンス	6Ω～16Ω

■チューナー部

受信範囲	FM：76.0MHz～90.0MHz AM：522kHz～1629kHz
プリセットチャンネル数	30（FM/AM合計）

■CD部

周波数特性	20Hz～20kHz
ダイナミックレンジ	90dB
全高調波歪率	0.035%
音声出力電圧/インピーダンス	1.0V/2.2kΩ（DOCK/TAPE OUT）

■MD部

録音可能サンプリング周波数	44.1kHz（内部CDデジタルダビング時）
再生サンプリング周波数	44.1kHz
録音・再生時間	最長5時間20分
周波数特性（デジタル音声）	20Hz～ 20kHz
ダイナミックレンジ	90dB
出力電圧/インピーダンス	1.0V(rms)/2.2kΩ（DOCK/TAPE OUT）

スピーカー部（D-T2）

形式	2ウェイバスレフ型
定格インピーダンス	6Ω
最大入力	40W
定格感度レベル	80dB/W/m
定格周波数範囲	60Hz～50kHz
クロスオーバー周波数	8kHz
キャビネット内容積	2.5リットル
最大外形寸法	128(幅)× 243(高さ)×217(奥行)mm（サランネット、ターミナル突起部含む）
質量	1.0kg
使用スピーカー	ウーファー：8cm A-OMFダイアフラム ツィーター：2cm バランスドーム型
ターミナル	プッシュ式
防磁設計	有（JEITA）

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お 名 前
- ▶ お 電 話 番 号
- ▶ ご 住 所
- ▶ 製 品 名 X-T2
- ▶ で き る だ け 詳 し い 故 障 状 況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口･修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。